



8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6

昭和五十九年三月
各務原市資料調査報告書第三号

各務原市文書史料目錄二

各務原市教育委員会

各務原市文書史料目録二

各務原市文書史料目錄三



寄贈 2174

序

各務原市は市制実施以来二十年、日々に発展を続けてきていますが、そのはるか昔から、祖先の営々とした努力によってすばらしい文化がすすかれて今日の姿になつてきたという長い歴史の恩恵によるものと思ひます。その歩みを探究し、まとめ、後世に伝えていくために、市教育委員会では、市史の編集に着手し、すでに「考古巻」「史料編古代・中世巻」「史料編近世I巻」の三巻を刊行することができました。

市史の編集に先だち、市内の旧家、社寺等に所蔵されている古文書を調査し、多くの資料を取集、整理してきました。その貴重な資料の保存と活用をほかるべく、「各務原市資料調査報告書」第一号、第二号を刊行してきましたが、今回第三号として編集刊行するのは二びとなりました。

この報告書は、一、二号のあとをうけて「文書史料目録三」として、広報会文書などを収録しました。また、神社に伝わる棟札類も合わせて収録してあります。先の二冊と合わせ、また「各務原市史」と共に、郷土史研究の基礎資料として、広く活用していただくことをお願いしております。

編集刊行にあたって、快くご協力いただきました資料所蔵者の方々、ご指導をお願いした市史編集委員の先生方、また本報告書作成のスタッフ諸氏に対し深く感謝の意を表し、あわせて今後のご支援をお願いする次第です。

昭和五十九年三月二十一日

各務原市教育長

水野定之

序
目次
凡例
口繪

目

次

一	各務原市教育委員会所藏文書(旧村坂場文書)……………	一
二	坂井順雄氏所藏文書……………	二
三	少林寺所藏文書……………	四
四	新加納広報会所藏文書……………	五
五	瑞巖寺所藏文書……………	九
六	瑞眼寺所藏文書……………	二
七	法藏寺所藏文書……………	二
八	横山嘉伝次氏所藏文書……………	三
九	尾関保男氏所藏文書……………	三
一〇	上中屋広報会所藏文書……………	五
一一	小島明二氏所藏文書……………	九
一二	永井好之氏所藏文書……………	九
一三	前渡西町広報会所藏文書……………	一〇
一四	森一郎氏保管文書(旧八幡神社文書)……………	三

一五	横山和夫氏所藏文書	二四
一六	足立敬氏所藏文書	二五
一七	川島利直氏所藏文書	二五
一八	桜井辰雄氏所藏文書	二六
一九	羽場町広報会所藏文書	二九
二〇	村岡真墨田神社所藏文書	二六
二一	遠藤忠博氏所藏文書	三六
二二	小林幸彦氏所藏文書	三七
二三	坂井峯氏所藏文書	三七
二四	永田辰夫氏所藏文書	三八
二五	廣瀬邦雄氏所藏文書	四一

附 棟札類目録

一	一手力雄神社所藏棟札類(那加手力町)	四二
二	村上神社所藏棟札類(那加長塚町)	四三
三	八幡神社所藏棟札類(那加山後町)	四三
四	諏訪神社所藏棟札類(那加桐野町)	四四
五	神明神社所藏棟札類(那加西市場町)	四四
六	濟縁寺鎮守社所藏棟札類(那加前野町)	四五
七	御井神社所藏棟札類(三井町)	四五
八	春日神社所藏棟札類(上戸町)	四六
九	天神神社所藏棟札類(上中屋町)	四六
一〇	春日神社所藏棟札類(下中屋町)	四七

一一	西宮神社所藏棟札類(下中屋町)	四七
一二	八幡神社所藏棟札類(神置町)	四八
一三	社宮神社所藏棟札類(成清町)	四八
一四	神明神社(旧石瀬神社)所藏棟札類(前渡長平)	四九
一五	神明神社所藏棟札類(前渡東町)	四九
一六	村岡真墨田神社所藏棟札類(鶴沼三ッ池町)	五〇
一七	神明神社所藏棟札類(鶴沼三ッ池町)	五一
一八	津島神社所藏棟札類(鶴沼羽場町)	五一
一九	愛宕神社所藏棟札類(松が丘)	五一
二〇	赤坂神社所藏棟札類(鶴沼東町)	五一
二一	北野天神社所藏棟札類(鶴沼山崎町)	五三
二二	神明神社所藏棟札類(鶴沼古市場町)	五三
二三	熊野神社所藏棟札類(鶴沼大伊木町)	五四
二四	村岡神社所藏棟札類(各務おがせ町)	五四
二五	八幡神社所藏棟札類(須衛町)	五五
二六	神明神社所藏棟札類(須衛町)	五五
二七	加佐美神社所藏棟札類(蘇原古市場町)	五六
二八	八坂神社所藏棟札類(蘇原伊吹町)	五七
二九	八幡神社所藏棟札類(蘇原坂井町)	五八
三〇	津島神社所藏棟札類(蘇原東島町)	五九
三一	日吉神社所藏棟札類(蘇原熊田町)	六〇
三二	神明神社所藏棟札類(蘇原六軒町)	六一

各務原市域における近世の神社と社家について……………六二
 後記……………
 干支早見表……………

一、本史料目録は、各府原市にかかわる古文書のうち、在地の近世・近代史料を中心に、所蔵家ごとに次の項目に従って分類整理したものである。岐阜県歴史資料館・史料分類例による。なお、各神社に伝存する種札類を附として収録した。

一 近世史料の分類(原則として天正十年代・慶応四年)

(一)支配関係

(二)土地関係

(三)資租関係

(四)文化関係

(五)社会関係

(六)文化関係

(七)家関係

(八)土地・家業関係

(九)生活・文化関係

(一〇)家関係

(一一)土地・家業関係

(一二)生活・文化関係

(一三)家関係

(一四)土地・家業関係

(一五)生活・文化関係

(一六)家関係

(一七)土地・家業関係

(一八)生活・文化関係

(一九)家関係

(二〇)土地・家業関係

(二一)生活・文化関係

(二二)家関係

(二三)土地・家業関係

(二四)生活・文化関係

(二五)家関係

(二六)土地・家業関係

(二七)生活・文化関係

(二八)家関係

(二九)土地・家業関係

(三〇)生活・文化関係

(三一)家関係

(三二)土地・家業関係

(三三)生活・文化関係

(三四)家関係

(三五)土地・家業関係

(三六)生活・文化関係

(三七)家関係

(三八)土地・家業関係

(三九)生活・文化関係

(四〇)家関係

(四一)土地・家業関係

(四二)生活・文化関係

(四三)家関係

(四四)土地・家業関係

(四五)生活・文化関係

(四六)家関係

(四七)土地・家業関係

(四八)生活・文化関係

(四九)家関係

(五〇)土地・家業関係

(五一)生活・文化関係

(五二)家関係

(五三)土地・家業関係

一、本史料目録は、各府原市にかかわる古文書のうち、在地の近世・近代史料を中心に、所蔵家ごとに次の項目に従って分類整理したものである。岐阜県歴史資料館・史料分類例による。なお、各神社に伝存する種札類を附として収録した。

岐阜大工町吉右衛門御興代金請求宛

一、本史料目録は、各府原市にかかわる古文書のうち、在地の近世・近代史料を中心に、所蔵家ごとに次の項目に従って分類整理したものである。岐阜県歴史資料館・史料分類例による。なお、各神社に伝存する種札類を附として収録した。

坂井宗重子息許状申請に付、吉田家々司安田前内返書状

一、史料の記載は、年次・表題・数量の順である。年次は、年号・年・月(一部分年号・年)までとし、日は省略した。年号未詳、月のみのものは、不明のまま記載した。

一、表題は、原文書に明記してあるものそのまま記載したが、内容を示すため(一)で開んだり整理担当者で仮表題を付けたものもある。なお、原文書中の旧漢字は現代漢字にあらためたものもあり、用字・用語の不統一は了解さすたい。

一、簿冊・図あるいは一紙文書が、その形状および大きさを明らかにするが本意であるが、その区別は省略した。

一、本文書料目録は、昭和十五年四月から五十七年十二月までに調査し、第一・二号に記載できなかったものと、それ以後、五十八年十二月までに調査したものを掲載した。調査が行き届かず未見の文書等は、機会があれば今後追録する。

一、この史料目録の作成は社会教育課市史編集係藤藤文彦、同主事後藤光伸・上村玄、同嘱託増田五郎、川原田政子・星野文子が担当し、市史編集委員長の岐阜大学教授野村忠夫先生・市史編集委員の岐阜大学助教授松田之利先生にご指導いただいた。

爲神道門第行法
令相傳託依之神
前參勤之砌木綿
手經可有掛用者
免許之帳如件

壬辰丹羽神主藤原朝臣

坂長門守神主

寶曆三年丙午十月十八日

濱野原村
八幡宮御座
築宗太殿

坂井宗大大木綿手經免許狀（丹羽神主）

美濃國各郡藤原庄市市場村
賀佐見神社神主坂井補法藤原朝臣
著風打鳥帽丁袴衣信元朝尊尊藤原
可袖奉積行者

神道裁許狀如件

寬政三年三月十日

神祇官藤原朝臣藤原朝臣

坂井摺津正宗等神道裁許狀（吉田家）

一 各務原市教育委員会所蔵文書

（旧村役場関係）

一 土地關係
地券（大野村）

二 租税關係
地券稅取立帳
三 明治二年 田方地券稅取立帳

（村關係）

- 四 明治七年 戶籍月屆添控帳（柳野村）
- 五 明治九年 一月 八ヶ村入会地取調帳
- 六 明治九年 四月 子年平役留帳
- 七 明治〇年 九月 岐阜県管轄第百十二区戶籍
寄留証、送籍証
- 八 明治一〇年 一月 丑年村費賦課取立帳
- 九 明治一五年 入籍届
- 一〇 明治一五年 送籍証
- 一一 明治三年 除籍目録
- 一二 明治四年 除籍目録
- 一三 明治五年 月調御届控簿（新加納村）
- 一四 明治五年 七ヶ村入会地籍費賦帳
- 一五 明治七年 一月 來繪調、戸長役場（西市場村）
- 一六 明治八年 一月 戶籍月調帳
- 一七 明治一八年 一月 戶籍總計表
- 一八 明治一八年 戶籍總計表

一九 明治一九年 一月 戶籍月調帳
二〇 明治一九年 二月 戶籍總計表（西市場村外八ヶ村）
二一 明治一九年 戶籍上置口問合帳（諸務課）
二二 明治一九年 戶籍變例御指令録
二三 明治一九年 送籍受籍証綴
二四 明治二〇年 戶籍登記目録
二五 明治二〇年 人口出入表（西市場村）

二六 明治二〇年 戶籍總計表
二七 明治二〇年 戶籍籌備書綴
二八 明治二〇年 一月 産婆届録
二九 明治二〇年 加籍目録
三〇 明治四一三年 部内諸建級（那加村役場）
三一 明治二七年 除籍目録
三二 明治二八年 除籍目録
三三 明治三〇年度 岐阜県稲葉郡那加村々稅歲入子算書
三四 明治三〇年度 岐阜県稲葉郡那加村々稅歲出子算書

三五 明治三二年 七月 発送書預控綴
三六 明治三三年度 往復文箱綴（那加村役場）
三七 年月未詳 出寄届届

（勸業關係）

三八 明治九年 二月 苗圃人足供役日記
三九 大正五年 一月 米作増収獎勵並其成績

(社会関係)

- 四〇 明治五年 書入買入売渡五年間取調帳
- 四一 明治六年二月 罹災三付貸身願書(岩地村)
- 四二 明治四年一〇月 罹災小誌(和親尋常小学校)
- 四三 明治六年一月 死亡証許証授身名簿

(文化・教育関係)

- 四四 明治一年一月 小学校用簿(新加納村会計)
- 四五 明治三年 御手本
- 四六 明治三年一〇月 勒語
- 四七 明治四年一月 那加村轄小学校會任様書
- 四八 大正〇年九月 東宮御詞
- 四九 昭和二年度 社等関係書綴(那加町役場)
- 五〇 年月未詳 那加村学校設計書

二 坂井順雄氏所蔵文書

(各務原市那加西市場町)

(支那関係)

- 一 安永 二年三月 徳山一位法印則秀肖像
- 二 天保 二年一月 徳山家先祖由緒書
- 三 慶応 三年 美濃國高辻村私領姓名寺社御朱印除地書

(土地関係)

- 四 慶長四年 西市場村御繩打水帳名寄帳
- 五 年月未詳 更木村開田細帳(名寄)
- 六 古検引合細見帳(一)
- 七 中興名寄帳
- 八 西市場村古検引合細見帳
- 九 検地帳

(賃租関係)

- 一〇 元文 三年二月 徳山登様御納所帳
- 一一 寛延 三年 九月 年年芋地下見帳
- 一二 弘化 三年二月 年年高懸り善行人別帳
- 一三 年月未詳 各務原村々高取調帳

(村政関係)

- 一四 正徳 三年七月 西市場村始り由來書
- 一五 寛保 三年二月 亥年濁七様馬日記

三 四 年月未詳

伊吹村地面絵図

- 一六 文政一〇年 五月 留日記
- 一七 文政一三年 三月 澗州各務郡更木村赤門御改帳
- 一八 年月未詳 出作之覽帳
- 一九 〃 〃 大名便覽(二河屋)

(土木・水利関係)

- 二〇 年月未詳 境川並道敷調帳

(文化関係)

- 二一 天保四年 吉良流札客の目録

(家関係)

- 二二 年月未詳 坂井家系図

(近代・土地関係)

- 二三 年月未詳 各務郡岩田村地面絵図
- 二四 〃 〃 各務郡岩濤村 〃
- 二五 〃 〃 川島町小綱 〃
- 二六 〃 〃 字寺跡 〃
- 二七 〃 〃 小佐野村 〃
- 二八 〃 〃 影野新田 〃
- 二九 〃 〃 西市場村 〃
- 三〇 〃 〃 古市場村 〃
- 三一 〃 〃 三井村 〃
- 三二 〃 〃 島崎村 〃
- 三三 〃 〃 飛鳥村 〃

- 三三 明治 六年 七月 地券番号改調帳(一番)
- 三六 明治 六年 八月 〃 (一番)
- 三七 明治 五年 九月 田方地券人別調帳
- 三八 明治 五年一〇月 大瀧田方地券調人別帳
- 三九 〃 〃 屋敷地券取調人別帳

- 四〇 〃 〃 細方地券人別調帳
- 四一 明治 七年 戌年大瀧田方内見帳
- 四二 明治 七年 四月 実地調字馬場岐草場海道南北調帳
- 四三 〃 〃 実地調字馬場岐草場海道南北調帳
- 四四 〃 〃 実地調字馬場岐草場海道南北調帳

- 四五 明治 七年 実地調字馬場岐草場海道南北調帳
- 四六 明治 三年二月 元徳山小左衛門知行所取納高書付

(租税)

- 四七 明治 五年 七月 申年益前室松大割帳
- 四八 年月未詳 地価台帳
- 四九 〃 〃 西市場村字西出地面台帳
- 五〇 〃 〃 西市場村字西出地面台帳

(村関係)

- 五一 明治 元年二月 辰年野乃庭米割付帳
- 五二 明治 二年 巳年市藏・豊藏差引帳
- 五三 明治 四年 取立人別帳

- 五四 明治七年一月 戊午期賦帳
- 五五 明治七年五月 四小村賦台に属候道具取帳
- 五六 明治二年 未年草野御年貢人別帳
- 五七 明治七年〇月 職人手間日記帳
- 五八 明治三年二月 年内諸入用費日記帳
- 五九 明治五年二月 諸品買入帳
- 六〇 明治六年八月 諸雇及日記帳
- 六一 明治六年度 各務用水取調帳
- 六二 明治七年度 野見塚地代金元帳
- 六三 明治八年二月 年内諸入費付込日記帳

三 少林寺所藏文書

(各務原市那加新納町)

- (編年のまじ)
- 一 永正初元(林仙四日) 東陽英朝辞世偈
- 二 年月未詳(室町期) 東陽英朝公案
- 三 年月未詳(明治期) 本国加州高野經流坪内家一統家圖
- 並由緒
- 九

(閲覧を許された文書のみここに掲載した)

四 新加納広報会所藏文書

(各務原市那加新納町)

- (土地関係)
- 一 明治一〇年十二月 地券(浜見塚埋葬地)
- 二 明治三年 入会地開墾創立之時反別
- 三 明治四三年 共有地名細簿
- 四 昭和二年 五月 三柿野割地等差表
- 五 年月未詳 那加村有地宅地台帳
- 六 " " 村有地三ノ野台帳
- 七 " " 新加納反別通計
- (村関係)
- 八 明治二年 八月 各務郡新加納村外六ノ村入会地草野税元帳
- 九 明治四年度 那加村入会地新加納区受立換割賦掟
- 一〇 明治二七年度 草野税及協議費戸数割徴取原簿
- 一一 明治一八年度 演習地下草掘未記帳
- 一二 明治三三年度 草野税取立帳
- 一三 明治三六年 八月 草野取入台帳
- 一四 大正一年度 村有地宅地捉覚
- 一五 昭和一年度 新加納区村税戸数別表
- 一六 昭和三年度 宅地坵米料徴取表
- 一七 昭和五年度 宅地坵米取入元帳
- 一八 昭和二年度 区坵米徴取帳

- 一九 昭和二年度 新加納区村税賦課額表
- 二〇 昭和五年度 区坵米代金
- 二一 昭和七年度 " "
- 二二 昭和八年度 " "
- 二三 昭和〇年度 区ノ坵米代金覚帳
- 二四 昭和二年度 坵米代金覚がき
- 二五 明治六年 五月 各務郡那加村新加納区規約書
- 二六 明治二年 大徳場芝及草野割合簿
- 二七 明治三年 " "
- 二八 明治三年 四月 明治三十二年度区費取支決算帳
- 二九 明治三年 四月 明治三十二年特別会計出納帳
- 三〇 明治三三、三五年 野方特別会計報告書
- 三一 明治四年 区費歳入出決算報告書
- 三二 明治三年度 決算書
- 三三 明治五年 区費決算報告書
- 三四 明治七年度 区費決算報告書
- 三五 明治八年度 区費決算報告書
- 三六 明治九年度 区費決算
- 三七 明治四〇年度 新加納区区費決算帳
- 三八 明治四一年度 区費徴取明細
- 三九 明治四二年度 新加納区区費決算帳
- 四〇 昭和四年度 議事録
- 四一 昭和二年 四月 区費徴取元帳
- 四二 昭和三年度 決算報告
- 四三 昭和四年度 区費徴取
- 四四 昭和四年度 戸数調査費

四五 昭和 四年度 決議録
 四六 昭和 四年度 決算
 四七 昭和 四年度 区費徴収
 四八 昭和 一五年度 取支予算
 四九 昭和 一五年度 決議録
 五〇 昭和 一八年度 新加納区費取支予算書
 五一 昭和 一八年度 区費徴収帳
 五二 昭和 一八年度 新加納区費取支決算報告書
 五三 昭和 一八年度 新加納区費取支決算報告書
 五四 昭和 一九年度 決算報告書
 五五 昭和 二〇年度 決算報告書
 五六 昭和 二〇年度 決算報告書
 五七 昭和 二〇年度 決算報告書
 五八 昭和 二〇年度 決算報告書
 五九 昭和 二〇年度 決算報告書
 六〇 明治 一八年度 約定証
 六一 明治 一八年度 新加納納入費附込帳
 六二 明治 一八年度 諸品質記入名簿
 六三 明治 二〇年度 種々附込控帳(世話方控)
 六四 明治 三〇年度 領収書(区内小使了納金)
 六五 明治 四三年 二月 領収書
 六六 明治 四五年 一月 領収書
 六七 大正 元年 二月 領収書
 六八 大正 五年 一月 添葉料
 六九 昭和 二年 四月 雑用覚帳
 七〇 昭和 二年 四月 諸費支払帳

七一 昭和 一四年度 新加納区費支払帳
 七二 昭和 一五年度 雑用覚帳
 七三 昭和 一八年度 区費支払帳
 七四 昭和 一九年 三月 支出金
 七五 昭和 一九年 三月 区内ノ雑用覚帳
 七六 昭和 二〇年度 高木尺調帳
 七七 明治 二八年 一月 高木尺調帳
 七八 明治 二八年 一月 高木尺調帳
 七九 明治 三〇年度 決算現在表
 八〇 明治 四〇年度 決算現在表
 八一 明治 四三年 四月 新加納選査在所自車修繕費領収書
 八二 大正 二年 一月 那加新加納選査在所自車修繕費領収書
 八三 大正 八年 村有山林受高配当契約年限引上處分ノ件
 八四 昭和 七年以前 区長書留
 八五 昭和 二一五年 那加出帳所庁舎修理費領収書
 八六 明治 一九年 七月 那加出帳所庁舎新築費集調印書
 八七 明治 一九年 八月 那加出帳所庁舎新築費集調印書
 八八 明治 一九年 八月 請願書(司法大臣宛)
 八九 明治 一九年 八月 請願書(岐阜地方裁判所長宛)
 九〇 明治 一九年 九月 地所家屋貸与ニ係ル契約書(付図面)
 九一 明治 一九年 二月 人足日記(付明治三十年三月改出不足氏名)

九二 明治 一九年 二月 庁舎工事成功開張獅子懸許通知
 九三 明治 一九年 契約証書
 九四 明治 一九年 岐阜地方裁判所ヨリ来信
 九五 明治 一九一〇年 岐阜区裁判所那加出張庁舎建築諸雑費帳
 九六 明治 三〇年 四月 地所家屋貸供ニ係ル契約書
 九七 明治 三〇年 五月 岐阜区裁判所出張建築落成式役期係名簿
 九九 明治 三〇年 五月 諸雜請負及支払
 九九 明治 三〇年 九月 岐阜区裁判所那加出張所庁舎勘定帳
 一〇〇 明治 三〇年 委任状
 一〇一 明治 三〇年 図面
 一〇二 明治 三〇年 登記所賃借帳
 一〇三 明治 三一年度 登記所諸費勘定帳
 一〇四 明治 三四年 二月 登記所庁舎修築受書
 一〇五 明治 三四年 登記所ニ付歳出決算報告書
 一〇六 (明治 四四年) 借用金証書(那加出張所修繕費)
 一〇七 (明治 三六年) 那加村役場通知
 一〇八 明治 三七年 三月 地所家屋貸供ニ係ル契約書(付図面三)
 一一〇 明治 四二年度 岐阜区裁判所那加出張所庁舎及敷地維持料調査
 一一一 大正 二年 二月 地所家屋賃借所庁舎及敷地維持料調査

一二二 大正 七年 大砲場下草割換略図
 一二三 大正 七年 三月未詳 区長送出入札
 一二四 各務郡新加納村荒地地絵図
 一二五 割口図
 一二六 三ヶ野分野圖
 一二七 村有新開地字影野絵圖(一)一七号
 一二八 村有新開地字北中絵圖
 一二九 新加納古藪古圖
 一三〇 全圖
 一三一 不明割口図
 (土木・水利關係)
 一一二 明治 二六年 二月 証三井村字細妹河渡架桁修繕費
 一一三 西載新開受持地遺取調
 一一四 明治 四四年 一月 新開地遺取地調査帳
 一一五 昭和 四年 六月 境川放水路工事について
 一一六 昭和 四年 六月 分水設計額
 一一七 昭和 四年 七月 再陳請書(境川放水路工事について)
 一一八 昭和 三年 一月 農道歩括工事農地買取之覚
 一一九 昭和 二五年 三月 神社前道路新設歩括による用地買取覚
 一二〇 昭和 七年 三月 中仙道より登校道まで歩括工事にによる用地買取覚
 一二一 年未詳 新加納(前沖)農道圖

一三二 年月未詳

各務郡那加村大字新加納用水四條
略圖

(勸業關係)

一三三 昭和二年 三月 昭和二十年度國民貯蓄目標額制當
配分二閱スル件
一三四 昭和二年 三月 開墾部意見
一三五 年月未詳 宮東耕地整理同意書

(社會關係)

一三六 明治 六年一月 往還(中山道)
一三七 明治 二年八月 美濃國各務郡各務野大砲射の所新
築入札注文帳
一三八 明治 六年二月 借用金証書
一三九 明治 七年 四月 金子借用証
一四〇 明治 七年 四月 日清戰爭戰死者葬儀
一四一 明治 八年 七月 小佐野村□□□□二係ル水利妨
害事件實記
一四二 明治 八年 七月 命令正本
一四三 明治 八年 七月 不當行為之禁止并ニ損害要領事件
答弁書
一四四 明治 八年 八月 口頭弁論調書
一四五 明治 八年 八月 証憑写
一四六 明治 八年 八月 判決正本(附・送達狀)
一四七 明治 六年一〇月 岐阜県稲葉郡新加納村乙種給養宿
舎之証

一四八 明治 七年 八月 領收書(日露戰爭草鞋寄贈)
一四九 明治 四年 三月 新加納青年會則
一五〇 昭和二年一〇月 出征軍人家族手伝入夫並ニ出金覽
記

一五一 昭和 一八年度 配給之覽
一五二 昭和 一〇年 六月 昭和二十年度軍需供出梅干割當ノ
件

一五三 昭和 二年 四月 判取帳(新加納部善會)
一五四 昭和 二年 現金受取簿(新加納部善會)
一五五 昭和 四年 三月 表彰狀・那加町新加納防犯組合
誓約書(消防部長)
一五六 昭和 四年 三月 誓約書
一五七 昭和 四年 二月 路切風制統合反対に關する陳情書
一五八 昭和 五年 一月 日吉神社境内市營住宅地賃貸契約
返還書類
一五九 年月未詳 所有費具録(右連中)
一六〇 〃 〃 補圖面綴

(文化・教育關係)

一六一 明治 二年 學校費仕私帳
一六二 明治 四年 四月 俄受恩興行成立原因(附經費精算
報告書) 祝詞
一六三 明治 〇年 五月 祝詞
一六四 明治 四年 日吉神社修繕帳
一六五 明治 三年 四月 日吉神社會計簿
一六六 大正 一年 一月 日吉神社社木風損木見積概算
一六七 昭和 一八年度 日吉神社社會計報告

五 瑞巖寺所藏文書

(名務原市那加北洞町)

(土地關係)

一 延宝 五年一〇月 國之次兵衛棟御厨(ト下シ上ケ申
引得)
二 元禄 六年二月 宮前畑之事
三 寶曆 〇年 當時田畑小作掟帳
四年 月 未詳 當時山林田畑簿

(實租關係)

五 明治 四年二月 御年貢米金勘定帳

(村政關係)

六 享保 六年 四月 宗門御改手形
七 元文 二年 三月 〃
八 文化 四年 四月 慈惠寺咨旨送り二札
九 天保 一〇年 二月 桂雲寺宗門送り一札
一〇 弘化 三年 正月 瑞巖寺宗門送り一札
一一 嘉永 二年 正月 宗門送り一札(雛形)
一二 明治 二年 三月 専琳寺宗門送り一札
一三 明治 七年一〇月 柴田嘉平送籍狀

(産業・金融關係)

一四 延宝 八年 正月 半左衛門借用申金子証文
一五 天和 元年 二月 小左衛門借用申祠堂金証文

一六 天和 二年 二月 源兵衛借用甲金子証文
一七 貞享 五年 二月 庄八借用申嗣堂金子証文
一八 元禄 六年 二月 李兵衛借用金証文
一九 元禄 〇年 二月 源兵衛借用金証文
二〇 元禄 七年 正月 源大借用金証文
二一 宝永 三年 二月 源大借用金証文
二二 享保 九年 二月 源大郎借用金証文

(社会関係)

二三 延宝 四年 三月 北洞村惣右衛門申上候口書
二四 寛政 四年 正月 頭百姓一件差出一札
二五 天保 〇年 七月 志常う佗証文

(土地・家業関係)

二六 天和 三年 二月 市之助永代亮渡畑証文
二七 元禄 五年 二月 孫助永代亮渡畑証文
二八 延宝 六年 二月 忠右衛門永代亮渡田地証文
二九 延宝 六年 二月 半四郎永代亮渡田地証文
三〇 宝永 七年 二月 五郎兵衛永代亮渡田地証文
三一 正徳 元年 二月 八郎右衛門永代亮渡田地証文
三二 元文 二年 三月 忠八永代亮渡田地証文
三三 元文 二年 三月 平藏拾年季二亮渡手形
三四 元文 二年 二月 勘七亮渡田地手形
三五 元文 二年 二月 惣兵衛拾年季亮渡手形
三六 元文 四年 三月 源兵衛亮渡田地手形
三七 享保 一年 五月 平藏嗣堂畑之事

三八 享保 一年 五月 平藏替田地之事
三九 享保 四年 二月 忠右衛門亮渡畑手形
四〇 享保 四年 二月 庄七拾年季亮渡田地手形
四一 享保 五年 三月 半兵衛亮渡田地手形
四二 延享 元年 二月 はん亮渡田地手形
四三 延享 五年 二月 はん亮渡田地手形
四四 寛延 三年 二月 其内
四五 宝曆 四年 二月 茂伝次亮渡田地手形
四六 宝曆 四年 三月 瑞岩季亮渡上畑手形
四七 宝永 四年 三月 弥吉衛門亮渡上畑証文
四八 宝永 五年 二月 小左衛門相土ヶ申手形之事
四九 戌年 二月

(文化関係)

五〇 延宝 六年 六月 陳志表
五一 延宝 九年 九月 証正郭表・天桂敬白
五二 延宝 九年 九月 全久院法款相違う付訴状指上候事
五三 延宝 九年 〇月 天桂口指上候訴状之返答
五四 天和 二年 四月 撰証文状(天桂和尚宛)
五五 元禄 〇年 九月 大寮念七代明山大禪師之行由
五六 元禄 一七年 九月 堀(禮部証文)
五七 元禄 二年 二月 亮郭漢漫証文
五八 正徳 二年 二月 堀(支配下諸寺院)
五九 享保 五年 三月 差上申一札之事(吟味書付)
六〇 享保 五年 七月 岩地村庵主堀出入内証文
六一 享保 四年 正月 岩地親普庵由緒書宛

六二 享保 七年 正月 客殿置置一件書付
六三 元文 六年 正月 本山書上候開山來歴
六四 延享 二年 〇月 未詳証明書
六五 寛延 二年 〇月 奉願一札之事(下書)
六六 寛延 三年 〇月 差上申人數書之事(顯彰)
六七 宝曆 三年 二月 信州全久院一札
六八 宝曆 三年 三月 儒化代領
六九 寶曆 〇年 五月 贈位之証状
七〇 寶曆 〇年 五月 親普庵礎紛失一件覺
七一 寶曆 〇年 〇月 親普庵 〃 〃
七二 安永 九年 六月 差上申人數書之事(寺関係)
七三 天明 三年 正月 瑞普寺差上申一札
七四 文政 三年 九月 瑞源差上申時代証文之事
七五 文政 一年 二月 以書付内定申上候(林陽寺関係)
七六 文政 一年 二月 書付を以願上候事
七七 天保 四年 三月 差上申一札之事(長老移帳)
七八 天保 九年 二月 以書付御願申上候事(龍泰寺廻)
七九 天保 一年 六月 以書付御願奉申上候事(難波頼顯)
八〇 〇化 二年 奉願上候御事(偽留一件)
八一 慶応 二年 八月 差入申一札之事(寺支配)
八二 明治 二年 四月 差上申本末取調之事
八三 〃 〃 〃 書上申一札(本末取調)
八四 明治 四年 九月 松本全久院一件証書
八五 年未詳 六月 山崎久一件口上覚
八六 〃 〃 〃 親普庵礎一件覺
八七 〃 〃 〃 全久院道場由緒覚

八八年 月未詳 御公儀願書等
八九年 未詳 九月 天桂和尚之訴状
九〇 〃 〃 二月 天桂和尚書簡
九一 〃 〃 〃 春晴一札(下書)
九二 〃 〃 〃 乍忠御願申上候事(下書)
九三 〃 〃 〃 春造白山社(由緒書)
九四 〃 〃 〃 全久院法款一件
九五 〃 〃 〃 位牌名
九六 〃 〃 〃 寺訴状返答書(下書)
九七 〃 〃 〃 全久院由緒書
九八 〃 〃 〃 全久院法款再返答書(下書)
九九 〃 〃 〃 水月庵年季惣御願申上候事
一〇〇 〃 〃 〃 口書之覚
一〇一 〃 〃 〃 加州大正寺天桂和尚一件
一〇二 〃 〃 〃 差上申一札之事
一〇三 〃 〃 〃 再答書(全久院関係下書)
一〇四 〃 〃 〃 釈氏敬堂白書
一〇五 〃 〃 〃 乍忠御願申上候御事親普庵一件

六 瑞眼寺所藏文書

(各務原市郡加浜見町)

(編年のまじ)

- 一 延享四年(一)六月 坪内定堅転位祀札状
- 二年 未詳 五月 坪内定堅書状
- 三年 未詳 六月
- 四年 未詳 七月
- 五年 未詳 七月
- 六月 未詳
- 七 宝曆三年 坪内道孝定堅肖像圖
- 八 安永五年二月 物成寄附二付札金請取証文
- 九 安永七年一月 瑞眼寺縁起并諸証文写留
- 一〇 寛政八年 九月 瑞眼寺公辺諸事録写留
- 一一 文政二年 正月 鎮守神明神社木伐払差留願
- 一二 文政二年 二月
- 一三 文政二年 五月 寺相續に付村方仰付催促願
- 一四 天保三年 二月 神明宮争論取嘆濟口証文
- 一五 安政二年 二月 坪内保之書状
- 一六 安政五年 九月 厚見郡中島村鎮守神明宮年貢取納
- 一七 (元治元年) 八月 坪内保之安房守任官奉貫書状
- 一八 (元治元年) 八月 坪内定益小姓頭任官奉貫書状

七 法藏寺所藏文書

(各務原市郡加西市場町)

(編年のまじ)

- 一 寛政七年 八月 殿様徳山氏御代々過去帳
- 二 嘉永六年 春 当山過去帳(天明十一年)

八 横山嘉伝次氏所藏文書

(岐阜市鶴田町)

一 天明二年

宗門人別改帳(北洞村)

九 尾関保男氏所藏文書

(各務原市上中屋町)

(支配関係)

- 一 一年 未詳 正月 (御免許につき案内)
- 二 三月 (地領用所呼出書)
- 三 二月 (御役所より呼出状)
- 四 年月 未詳 覚(諸事御免御渡し)下書

(土地関係)

- 五 天保五年 四月 返答書写(雜語)

(賃租関係)

- 六 文化一〇年二月 免定
- 七 文化三年 九月 山方御物成指引帳
- 八 天保五年 五月
- 九 天保五年 五月 即長巳山方御年貢上納引私帳写
- 一〇 安政五年 五月 冥加紙金
- 一一 安政五年 九月 御請書之事(賦金)
- 一二 二年 未詳 四月 覚(役領取)

(村政関係)

- 一三年 月 未詳 村絵図(天保七年のもの)一点
- 一四 戊午 正月 送り状之事(材木)
- 一五 巳年 七月 覚(正金預り証)
- 一六 申年 八月 覚(金請取)

(産業・金融関係)

- 一七 天保二年二月 新太郎借用申金子之事
- 一八 天保二年二月 利兵衛借用金子手形之事
- 一九 天保四年一月 新太郎借用申金子之事
- 二〇 天保五年三月 省庵年々書入申出ノ事 借用金
- 二一 嘉永二年二月 久兵衛借証文一札之事
- 二二 万延二年二月 平吉借用申金子之事
- 二三 年未詳 二月 新太郎借用金子手形之事

(交通関係)

- 二四 文久三年三月 原吉一往米頼一札
- 二五 酉年三月 覺(御林御技木川番番所宛)
- 二六 年未詳 三月 覺(地本松亮渡川並番所宛)

(社会関係)

- 二七 文政 四年一月 (身分不承知出入)
- 二八 寛政三年二月 差入申願之事(家作出入)
- 二九 寛政三年二月 差入申一札之事(家作出入)
- 三〇 寛政六年九月 書付一札之事(下書(住家普請))
- 三一 寛政九年 正月 (普請一件)
- 三二 寛政九年 四月 書付一札之事(住家普請願)写
- 三三 寛政一年 九月 乍恐奉願上候御事(庇普請出入)
- 三四 天保五年 四月 乍恐以書付御訴訟奉申上候事(山方出入)

- 三五 天保五年 四月 乍恐口上書を以奉申上候(年号普違記状)
- 三六 天保五年 四月 出入
- 三七 天保七年 八月 乍恐以書付奉願上候(利不承知)
- 三八 天保八年二月 (苗代用水願)
- 三九 安政四年 正月 為取替一札之事(葬式指入一件)
- 四〇 一札之事
- 四一 乍恐差上申濟口一札之事(葬式差入)
- 四二 安政五年十月 乍恐以書付奉願上候(家作普請)
- 四三 万延元年 六月 乍恐書付ヲ以奉願上候(庄屋踏役)
- 四四 年未詳 八月 心覚(濟口指上候覚)
- 四五 年二月 乍恐書付ヲ以御數頭奉申上候(村法相普)
- 四六 年未詳 八月 死亡入用覚
- 四七 申年(〇月) 乍恐以書付奉願上候(葬式出入)
- 四八 年未詳 正月 書付(門庇普請)
- 四九 年未詳 乍恐書付奉願上候(利不承知出入)
- 五〇 口書
- 五一 雜文書
- 五二 巳年二月 (天神社玉垣造建)

(文化関係)

(土地・家業関係)

- 五三 安永二年 九月 平左衛門水代亮渡不ク田手形之事
- 五四 文化二年二月 仁兵衛水代亮渡シ申手形之事
- 五五 天保五年 十月 木曾八彦証文一札(田地亮渡)
- 五六 天保七年二月 弥吉亮渡シ申畑屋敷手形之事
- 五七 天保八年 四月 甚右衛門亮渡シ申山手形之事
- 五八 天保一年 三月 忠右衛門亮渡シ申山手形之事
- 五九 安政二年 三月 平吉亮渡申手形事(田地)
- 六〇 万延元年 八月 新右衛門亮渡シ申家手形之事
- 六一 文久二年一月 平吉年々恐以書付奉願上候古家之事
- 六二 年未詳 年季亮渡シ申田地事 下書

上中屋広報会所蔵文書

(各務原市上中屋町)

(近世・編年のまま)

- 一 慶安二年二月 尾州羽栗郡内上中屋新田御検地帳
- 二 宝永六年二月 丑年免定之申
- 三 享保一年 二月 名寄濃州商業郡上中屋村帳
- 四 天保十五年 名寄帳(天保一五年以外のもの混入)
- 五 安政五年二月 免定(前後欠)
- 六 年未詳

(国・県関係)

- 七 明治二年一月 御達頼組綴
- 八 明治四年以降 請官序指合書綴

(土地関係)

- 九 明治八年 六月 字分番号檢計正記帳
- 一〇 明治九年 四月 愛宕社慈勝寺境内并同寺持地共西地券之図
- 一一 明治十三年 地籍区分調
- 一二 年未詳 第一号字村西下調台帳
- 一三 第二号字四村地備取調帳
- 一四 第五号字村北下調台帳
- 一五 第六号字富西地備取調台帳
- 一六 第七号字宮前地備取調台帳

(運輸関係)

- 一〇九 明治四年 四月 渡船営業に関する委任状
- 一一〇 大正二年 三月 渡船営業権譲渡公正証
- 一一一 大正三年 渡船場位置変更並渡船賃増額許可申請

(社会関係)

- 一一二 明治一年 廿歳以下種痘調
- 一一三 明治三年 二月 濃尾震災関係帳
- 一一四 明治五年 五月 濃尾震災にかかわる荒地免租年期限所得調
- 一一五 昭和一年度 所得調
- 一一六 昭和二年 五月 浦高山達中名簿
- 一一七 年月未詳 上中屋村屋団二号(出火ノ節)手続書下調査

(神社関係)

- 一一八 明治三年 一月 神職取定ノ件(天神社地母社)
- 一一九 明治四年 一月 申請書(天神社所有社殿其他工作物登録)
- 一二〇 明治四年 五月 幣殿新築願
- 一二一 明治四年 六月 神社明細帳面移動届
- 一二二 明治四年 七月 天神社財産目録ノ件許可
- 一二三 大正 四年 一月 鳥居建設ノ件許可
- 一二四 大正 五年 一月 燈明、狛犬建設ノ件届届
- 一二五 大正 七年 一月 神社関係諸帳簿編纂
- 一二六 大正 二年度 現金委託簿

一一七 昭和 五年度

- 一一七 昭和 五年度 天神社登記登録簿
- 一一八 昭和四八年度 神社関係諸帳
- 一一九 昭和五年 一月 天神社宝物刀登録証
- 一二〇 昭和五五年 三月 天神社宝物刀
- 一二一 昭和五五年度 天神社金銭収納帳
- 一二二 年月未詳 天神社神社明細帳
- 一二三 神社ノ義務及諸給与規則

一一 小島明二氏所蔵文書

(各務原市下中屋町)

(半世・編年のまま)

- 一 天正二年二月 武田家印判状
 - 二 年未詳 一月 小笠原信濃書状
 - 三 二月 浅井長政書状
 - 四 正月 朝倉義景書状
 - 五 八月 三木良頼書状
 - 六 二月 土屋昭頼書状
 - 七 二月 左兵衛佐昭利書状
- (近世・編年のまま)
- 八 寛永三年二月 小島氏由緒書(文化式年二月写)
 - 九 享保〇年 小島子煇願一件口上之覚
 - 一〇 年月未詳 小島一統由緒書下書
 - 一一 村初て之観面(下中屋村小島統)

一二 永井好之氏所蔵文書(追加分)

(各務原市那加桜町)

(編年のまま)

- 一 明治七年 九月 議員召集の件につき御伺伊藤家証提調書
- 二 明治九年 六月 前渡村村会議事録
- 三 明治四年度 訴訟取支明細帳
- 四 明治二六年 三月 組合役場日記簿
- 五 明治二六年 前渡村一カ村組合役場原簿
- 六 前渡東区領取書
- 七 前渡東区私訴実費帳
- 八 自明治一六年 訴訟費項目訳原簿
- 九 私訴委員日当元帳
- 一〇 実費弁償額明細原簿
- 一一 訴訟費用取支明細原簿
- 一二 前渡村年入出予算表
- 一三 臨時村税徴取取簿
- 一四 臨時村税徴取取簿
- 一五 自明治一八年 実費弁償額明細原簿
- 一六 大正 元年 通常稲葉部会議決書
- 一七 大正 二年 通常稲葉部会議決書
- 一八 大正 二年 前野社改築許可書
- 一九 大正 二年 八月 前野神社代々奉納棟札置写帳
- 二〇 大正 二年 前野神社玉垣社段改築設計書
- 二一 前野神社祭文殿改築費取支算表
- 二二 通常稲葉部会議決書
- 二三 通常稲葉部会議決書

- 三三 大正 三年 通常稲葉郡会議案
- 三二 大正 三年度 稲葉郡歳入出予算明細書
- 二六 大正 四年度 大正 四年度 龍泉寺調査申請書
- 二七 大正 七年二月 龍泉寺創建開基證明書
- 二八 昭和 二年 元利共領取証
- 二九 昭和 二年 七月 追願書
- 三〇 昭和 三年 五月 土地寄付証書
- 三一 昭和 三年 四月 永井家々系譜草稿
- 三二 年月 未詳 寛文年以降永井家本流・支流系譜調へ
- 三三 永年家世代結婚年限調査
- 三四 永井家祖先略曆
- 三五 長井家証憑調査
- 三六 雜費覚書
- 三七 稲葉郡会議規則
- 三八 代々棟札控龍野三山大権現
- 三九 稲葉郡諸規程

(なおる務原市文書史料目録二号では永井好文となつてゐるが、永井好之の誤りである)

- 二二 明治 七年 八月 字西宮寺実地改正記
- 二一 字常貞寺西
- 二〇 字居屋敷
- 一九 字荒井山
- 一八 字神明前改正記野帳
- 一七 字代宮田実地改正帳
- 一六 字久熊
- 一五 明治 七年 字葉師東実地改正簿
- 一四 明治 七年 八月 悉地改正帳(塊前河原)
- 一三 一年月 未詳 (字古屋敷)
- 一二 (字後山)
- 一一 (字山屋敷)
- 一〇 (字下切前河原)
- 〇九 (字葉師西)
- 〇八 (字横枕井沢尻)
- 〇七 (字常貞寺西)
- 〇六 明治 二年一〇月 明治一年中免額調査
- 〇五 明治 七年 六月 改正調日数帳
- 〇四 改正出頭記
- 〇三 明治 七年 七月 实地測量簿
- 〇二 改正出頭日記帳
- 〇一 明治 三年 四月 荒附御調帳
- 〇〇 明治 八年 六月 屋敷等級取調帳

一三 前渡西町広報会所蔵文書

(各務原市前渡西町)

- 一 寛永 五年 春 内野北嶋高帳さひかへ
- 二 寛文 六年一〇月 新田帳
- 三 午之年新田物成之帳
- 四 延宝 三年 九月 卯之年新田帳
- 五 寛政 四年 二月 寛文新開古屋敷名寄帳
- 六 天明 三年 二月 寛文新開古屋敷名寄帳
- 七 田高名寄帳
- 八 天保 三年 二月 度々新開古屋敷名寄帳
- 九 年月 未詳 名寄帳
- 一〇 明治 七年 六月 字天島実地改正帳
- 一一 字中畑実地改正記
- 一二 字山下
- 一三 字葉師西
- 一四 字天主北
- 一五 字古屋敷
- 一六 字久ヶ上
- 一七 字葉師北
- 一八 字河田
- 一九 字常貞寺西
- 二〇 字山屋敷
- 二一 字大釜

- 四六 年月 未詳 字葉師南(唐屋敷反歩調)
- 四七 記(田畑反別調)
- 四八 明治 七年一月 切松区總計簿
- 四九 年月 未詳 畑区図面
- 五〇 埋葬地調記
- 五一 明治 八年一〇月 地券証願検分記
- 五二 二月 地券御願換下調帳
- 五三 明治 二年二月 確証
- 五四 内山連名義定帳
- 五五 年月 未詳 美濃国各務郡前渡村地券
- 五六 明治 二年三月 辰取助帳
- 五七 明治 三年 六月 式拾々年免定券
- 五八 明治 三年一月 新開御年貢取立帳
- 五九 明治 六年 三月 反別總計地代佃覚帳
- 六〇 明治 八年 三月 改正地佃權等分帳
- 六一 改正地佃權調帳
- 六二 明治 八年 四月 佃取種平均且安段帳
- 六三 明治 四年一分 字内山地租徴収原簿
- 六四 明治 八年 二月 御用留

(村関係)

- 六四 明治八年 七月 御用留
- 六六 明治八年 八月
- 六七 明治三九年 協議費勘定帳
- 六八 明治四〇年 " "
- 六九 大正一年 七月 協議費勘定帳
- 七〇 大正三年一月 協議費勘定帳
- 七一 大正四年度 協議費原簿
- 七二 " " 協議費
- 七三 昭和三年度 協議費
- 七四 大正一年度 協議費・消防費・村社費徴収原簿
- 七五 大正二四年一月 " " " " " "
- 七七 大正二年一月 " " " " " "
- 七八 昭和三年一月 " " " " " "
- 七九 昭和四年一月 " " " " " "
- 八〇 大正一年度 消防費取支簿
- 八一 昭和二年一月 消防費取支簿
- 八二 昭和七年度 消防費取支簿
- 八三 昭和八年度 消防費取支簿
- 八四 明治三年二月 両組王屋給小歩口給仕狀
- 八五 明治一年 四月 戸長所諸書類受渡目録
- 八六 明治二年 一月 出生死亡入籍退籍寄留入月調

- 八七 明治二年 五月 御用書
- 八八 年月未詳 諸届書類
- 八九 " " 村会之号議案
- 九〇 明治九年 三月 堤御書請付七取跡
- 九一 " " 四月 堀尾修繕二付土取跡荒地調帳
- 九二 明治四二年 郡主担道路入夫帳
- 九三 明治七年二月 貸入書入証文與印帳
- 九四 大正三年度分 渡船運費別金帳
- 九五 明治八年一月 本郷高助成目録
- 九六 明治九年一月 頼母子講手形
- 九七 大正一年度 村社神明社費取支簿
- 九八 大正二年度 村社神明社出納簿
- 九九 " " 領取証綴
- 一〇〇 大正三年一月 神明社負債取支簿
- 一〇一 大正三年三月 大正十年村社大門新築費徴収原簿
- 一〇二 大正三年度 村社神明社領取証書綴

- 一〇三 大正四年度 村社神明取支簿
- 一〇四 昭和四年三月 村社神明社拜替有志
- 一〇五 昭和六年一月 小役名簿
- 一〇六 昭和五年 四月 記(秋葉神社納金)
- 一〇七 昭和七年二月 秋葉神社 織寄附芳名簿
- 一〇八 明治八年一〇月 田反別延米平均郡中地備積請書調
- 一〇九 明治〇二年二月 印写帳
- 一一〇 " " 永代売渡証券
- 一一一 " " " "
- 一一二 " " 借用証券
- 一一三 年月未詳 質流売渡申一札
- 一一四 " " 差入申証文

- #### 一四 森一郎氏保管文書(旧八幡神社文書)
- (編年のまよ)
- 一 天和 三年二月 喜右衛門田地敷錢借用証文(清右衛門宛)
 - 二 延享 四年二月 利兵衛分畑中之介売渡証文(清左衛門宛)
 - 三 延享 四年二月 彦介金子借用に付田地年季入証文(清左衛門宛)
 - 四 寛延 元年 八月 久八屋鋪地未代売渡し証文(清左衛門宛)
 - 五 寛延 元年二月 多七田地売渡し証文(清左衛門宛)
 - 六 明和 七年三月 石田村徳助組下弥左衛門替替之一件吟味願
 - 七 寛政 九年 石田村高寛
 - 八 享和 元年三月 明通寺榎家離札に付吟味願
 - 九 文化 二年三月 羽栗郡石田村五人組合百姓手形
 - 一〇 文化 三年 四月 朔八原売渡し証文(石田村藤藏宛)
 - 一一 文化 九年 六月 庄屋不直に付取調へ請求願
 - 一二 文政 元年二月 借金に付居屋敷五か年季に差入証文
 - 一三 文政 三年 八月 石田村徳左衛門、清左衛門方二組組入に付取替証文
 - 一四 天保 四年 村銘争いに付願書(断片)
 - 一五 (天保四年カ) 村銘争いに付書付

- (土地・家業)
- 一〇八 明治八年一〇月 田反別延米平均郡中地備積請書調
 - 一〇九 明治〇二年二月 印写帳
 - 一一〇 " " 永代売渡証券
 - 一一一 " " " "
 - 一一二 " " 借用証券
 - 一一三 年月未詳 質流売渡申一札
 - 一一四 " " 差入申証文

- (編年のまよ)
- 一 天和 三年二月 喜右衛門田地敷錢借用証文(清右衛門宛)
 - 二 延享 四年二月 利兵衛分畑中之介売渡証文(清左衛門宛)
 - 三 延享 四年二月 彦介金子借用に付田地年季入証文(清左衛門宛)
 - 四 寛延 元年 八月 久八屋鋪地未代売渡し証文(清左衛門宛)
 - 五 寛延 元年二月 多七田地売渡し証文(清左衛門宛)
 - 六 明和 七年三月 石田村徳助組下弥左衛門替替之一件吟味願
 - 七 寛政 九年 石田村高寛
 - 八 享和 元年三月 明通寺榎家離札に付吟味願
 - 九 文化 二年三月 羽栗郡石田村五人組合百姓手形
 - 一〇 文化 三年 四月 朔八原売渡し証文(石田村藤藏宛)
 - 一一 文化 九年 六月 庄屋不直に付取調へ請求願
 - 一二 文政 元年二月 借金に付居屋敷五か年季に差入証文
 - 一三 文政 三年 八月 石田村徳左衛門、清左衛門方二組組入に付取替証文
 - 一四 天保 四年 村銘争いに付願書(断片)
 - 一五 (天保四年カ) 村銘争いに付書付

- 一六 (天保四年カ) 村銘争いに付訴訟方差出書付
 一七 天保 五年二月 借用金年季明きに付延年願添証文
 一八 文久 二年二月 差物細工許可願
 一九 慶応 三年二月 清左衛門金子借用証文(銀八匁)
 二〇 明治 二年 正月 " "
 二一 明治 七年一〇月 惣代連印一札
 二二年 未詳 三月 武渡赤塚庄右衛門杉板亮渡の覚
 二三年 辰年三月 笠松材木屋傳右衛門山方亮渡証文
 二四年 未詳 二月 差物許可願
 二五年 支年二月 木材亮渡し証文
 二六年 酉年一月 材木屋等松野田屋杉板亮渡し証文
 二七年 子年一〇月 三原屋宇兵衛橋寄送り証文
 二八 丑年一〇月 材木屋野田傳藏亮渡し証文
 二九年 月未詳 牧野神楽作常流の御歌(仏教関係)
 三〇 " " 言上書(浄土真宗教儀等)
 三一 " " 雜文書

七

一五 横山和夫氏所藏文書

(各務原市成清町二)

(編年のまま)

- 一年 未詳 正月四日 戒善院玄海書状(夫久保加賀守宛)
 二 " " 九月七日 酒井雅楽頭忠知書状(坪内駿河守宛)
 三 " " 九月八日 阿部飛騨守正光書状(坪内駿河守宛)
 四 " " 九月十四日 酒井雅楽頭忠知書状(坪内駿河守宛)

一六 足立敬氏所藏文書

(各務原市各務おがせ町)

(編年のまま)

- 一文久 二年二月 神明宮祭礼金取極証文
 二 慶応 二年七月 足立一統取極約定証文

一七 川島利宣氏所藏文書

(各務原市鶴沼ニツ池町三)

(編年のまま)

- 一 延享五年五月 朝鮮人御用役割附帳
 二 文化元年三月 由緒書其外(御役儀被仰付候)
 三 慶応元年十二月 借用申金子之事(川嶋伊左衛門宛)
 四 慶応一年九月 差出申書付之事(東組系図取扱)

一八 桜井辰雄氏所藏文書(追加分)

(各務軍市納濟西町)

(土地關係)

一 嘉永 五年 七月 見取新田名高帳

(實地關係)

- 二 弘化 四年 未之勘定大目録
- 三 嘉永 三年 戌年砂入引米割渡帳
- 四 嘉永 三年 本所御見取米割渡帳
- 五 嘉永 四年 二月 戌年砂入引米割渡帳
- 六 嘉永 四年 二月 支之勘定大目録
- 七 嘉永 五年 支之勘定大目録
- 八 嘉永 五年 戌年砂入引米割渡帳
- 九 嘉永 六年 十一月 戌年勘定大目録
- 一〇 安政 二年 戌年砂入引米割渡帳
- 一一 安政 二年 即之勘定大目録
- 一二 安政 三年 辰
- 一三 安政 四年 巳年勘定大目録
- 一四 安政 五年 年之勘定大目録
- 一五 安政 六年 未
- 一六 安政 六年 散田御不同免檢見入組一件頭
- 一七 安政 六年 九月 散田御不同免入組一件濟口証文
- 一八 万延 元年 申之勘定大目録
- 一九 文久 元年 西
- 二〇 文久 三年

二一 元治 元年 子之勘定大目録

二二 慶応 元年 丑

二三 慶応 二年 寅

二四 慶応 三年 寅年御檢見入調

二五 慶応 三年 卯年勘定大目録

二六 慶応 四年 正月 御免狀并出目録・立全目録・年報帳

二七 明治 三年 八月 惣高御下向免額之節下書檢因

(行政關係)

- 二八 安政 二年 三月 各務郡納濟村宗門御改帳
- 二九 慶応 三年 二月 御私領年內支私方取調帳(惣代)
- 三〇 文久 三年 六月 納濟宿本陣門取因(控)
- 三一 二年 月 未詳 納濟宿家並因
- 三二 二年 月 未詳 納濟宿家並因
- 三三 澤州納濟宿助郷檢因
- 三四 各務郡納濟村檢因
- 三五 納濟宿・加納宿問檢因
- 三六 文久 貳年 三月 小笠原佐渡守様御下宿帳
- 三七 文久 貳年 三月 仙石謙岐守様御下り御泊帳
- 三八 文久 貳年 五月 松平右近將監様御下宿帳
- 三九 因陣中將様御下宿
- 四〇 新庄美作守様御下宿帳
- 四一 朽木主計助様御下宿帳

(交通關係)

- 六七 慶応 二年 三月 有馬邊江守様兼御妹御下宿帳
- 六八 寅年 六月 松平下總守様御下宿帳
- 六九 寅年 八月 牛田信濃守様御泊り帳
- 七〇 慶応 二年 〇月 御下り松平能登守様御下宿帳
- 七一 年 未詳 四月 津輕越中守様御下宿帳
- 七二 年 未詳 五月 有馬阿波守様并御組之も宿割帳
- 七三 大御番頭・様地御宿割帳
- 七四 年 月 未詳 溝口主膳正様御中日額御下宿帳
- 七五 御宿帳(雜)
- 七六 慶応 三年 一月 御私料方御休泊料ノ出帳
- 七七 文化 四年 開書集

(扶養關係)

七七 文化 四年 開書集

(文化關係)

- 七八 文化 八年 七月 日本全国地図
- 七九 弘化 三年 正月 宝徳勸化帳
- 八〇 安政 二年 正月 歌舞伎役者給金番付表
- 八一 慶応 二年 正月
- 八二 慶応 四年 正月 大日本道中細見記
- 八三 慶応 四年 七月
- 八四 慶応 貳年 三月 村方帳金帳疑感一件濟口証文
- 八五 明治 六年 五月 大安寺洞地空地約定書之事
- 八六 明治 九年 一月 地所並立木譲渡仮約定証文

(國・輿關係)

- 五九
- 六〇 慶応 元年 二月
- 六一 慶応 元年 閏五月
- 六二 丑年 五月
- 六三 慶応 元年 閏五月
- 六四 慶応 元年 六月
- 六五 慶応 元年 六月
- 六六

- 御登宿帳
- 四二 文久 貳年 六月
- 四三 文久 貳年
- 四四 文久 三年 三月
- 四五 文久 三年 五月
- 四六 文久 三年 六月
- 四七
- 四八
- 四九 文久 三年 七月
- 五〇 文久 三年
- 五一 子年 六月
- 五二 元治 元年 六月
- 五三 元治 元年 六月
- 五四 元治 元年 六月
- 五五 元治 元年 九月
- 五六 元治 元年 二月
- 五七 元治 二年 二月
- 五八 元治 二年 五月
- 五九
- 六〇 慶応 元年 二月
- 六一 慶応 元年 閏五月
- 六二 丑年 五月
- 六三 慶応 元年 閏五月
- 六四 慶応 元年 六月
- 六五 慶応 元年 六月
- 六六

- 御登宿帳
- 一橋殿地倉様御宿割帳
- 酒井京太様御宿割帳
- 一橋殿地倉様御宿割帳
- 松浦肥前守様御下宿割帳
- 松平豊後守様室様御下宿帳
- 松平豊後守様御旅籠御渡帳
- 仙石謙岐守様御下宿割帳
- 片倉小太郎様御下宿割帳
- 松浦豊後守様御下宿帳
- 小笠原左衛門佐様御下宿帳
- 黒田甲斐守様御泊り御下宿帳
- 眞田信濃守様御昼休御下宿帳
- 土井能登守様御泊り御宿帳
- 青山左京大夫様御下宿帳
- 真山信濃守様昼宿割
- 尾州警備御使入様宿帳
- 京都見廻り役御頭御登り御昼休御下宿帳
- 本目長門守様御昼休御下宿帳
- 鈴木伊兵衛様御昼休御下宿帳
- 高遠御家申御泊り旅居帳
- 土井能登守様御下宿帳
- 一種様御用帳御下宿帳
- 三浦安常様御下宿割帳
- 高遠宿割帳
- 木銭末代割帳
- 石守謙岐守様御下宿帳

二二三	大正 七年度	協議費人別別合簿	羽場区	一四九	昭和 四十九年	定期貯金通帳	羽場区長
二二四	"	協議費決算簿	羽場区	一五〇	昭和 五十年一月	鶴沼村教化勸励申合規約	羽場区
二二五	大正 八年度	協議費人別別合簿	羽場区	一五一	昭和 五年度	協議費合簿	羽場区
二二六	"	協議費決算簿	"	一五二	"	協議費決算簿	"
二二七	大正 九年度	協議費人別別簿	羽場区	一五三	昭和 五十二年	當座貯金通帳	羽場区長
二二八	大正 九年度	協議費人別別簿	羽場区	一五四	昭和 六年度	羽場区部落有林処分報告	羽場区長
二二九	大正 〇年度	協議費別合人名簿	"	一五五	昭和 八年度	協議費決算簿	羽場区
二三〇	大正 一年度	租税協議費決算簿	"	一五七	"	鶴沼村役場通知書綴	羽場区長
二三一	"	協議費人人名簿	"	一五八	昭和 七年度	領収証其他綴	"
二三二	大正 二年度	協議費人人名簿	"	一五九	昭和 七年度	羽場区有林処分報告	"
二三三	"	協議費決算簿	"	一六〇	昭和 八年度	鶴沼村役場通知書綴	羽場区長
二三四	"	執務書綴	羽場区	一六一	昭和 九年度	取支協議費決算簿	"
二三五	大正 二年度	諸米物綴	羽場区	一六二	昭和 〇年度	取支協議費決算簿	"
二三六	大正 三年度	協議費決算簿	羽場区	一六三	昭和 一〇年度	諸通達書綴	"
二三七	大正 三年度	協議費人人名簿	羽場区	一六四	昭和 一一年度	御支通達書綴	"
二三八	大正 三年度	協議費人人名簿	羽場区	一六五	昭和 一一年度	取支協議費決算簿	羽場区
二三九	大正 四年度	租税協議費決算簿	"	一六六	昭和 一二年度	諸伝達書綴	"
二四〇	大正 五年度	受領証綴	"	一六七	昭和 一三年度	取支協議費決算簿	羽場区
二四一	大正 五年度	協議費決算書	"	一六八	昭和 一三年度	諸通達書綴	"
二四二	昭和 二年度	貯金台帳	羽場区長	一六九	昭和 一四年度	協議費取支決算書	"
二四三	昭和 二年度	協議費人別別合簿	羽場区	一七〇	昭和 一五年度	協議費取支決算書	"
二四四	昭和 三年度	協議費決算書	羽場区	一七一	昭和 一六年度	取支決算書綴	"
二四五	"	引継書綴	"	一七二	昭和 一七年度	取支決算書綴	"
二四六	"	協議費合簿	羽場区	一七三	昭和 一七年度	鶴沼信用販売買用組合購買通帳	"
二四七	昭和 四年度	協議費決算書	羽場区	一七四	昭和 一七年度	取支決算書綴	"
二四八	"	協議費決算書	羽場区				

一七五	昭和 一七年度	協議費取支決算書	羽場区	一九七	昭和 六年度	請負契約書	
一七六	昭和 一八年度	通知書綴	"	一九八	昭和 六年度	登記承諾書	鶴沼村
一七七	昭和 一八年度	羽場区人口調	"	一九九	昭和 六年度	領収書	"
一七八	昭和 一八年度	家族構成人員等調査書提出方ノ件	"	二〇〇	昭和 八年度	承諾書	東
一七九	昭和 一九年度	諸規約綴	"	二〇一	"	"	南中
一八〇	昭和 二〇年度	民生委員指令伝達式並講習會に關する件	"	二〇二	"	"	室東
一八一	"	取支協議費決算書	羽場区	二〇三	"	"	"
一八二	昭和 三〇年度	戸口調査基帳	"	二〇四	昭和 九年度	土地客附証書	"
一八三	"	戸口調査基帳	"	二〇五	昭和 九年度	土地表示変更登記申請書	"
一八四	"	戸口調査基帳	"	二〇六	昭和 一三年度	當座貯金通帳	松田溜池工事會計
一八五	"	戸口調査基帳	"	二〇七	昭和 一四年度	松田溜池出納簿	會計
一八六	昭和 三〇年度	諸通知書	羽場区	二〇八	昭和 一四年度	道路改良	"
一八七	昭和 三〇年度	協議費積算記	"	二〇九	昭和 一四年度	羽場宮裏水路改良計画標榜圖	"
一八八	昭和 三〇年度	雜文書綴	"	二一〇	"	工業場構造圖面	"
一八九	"	受領書綴	鶴沼村役場	二一一	"	"	"

(土木)

一九〇	明治 一六年度	家數建物調査簿		二二二	明治四〇年度	共同借代田人名簿	
一九一	大正 三年度	中口洞費用調査書		二二三	"	春金共同人名簿	
一九二	大正 五年度	中口洞費用調査書		二二四	明治四一年度	事業報告ノ鶴沼第一信用庫先組合	
一九三	大正 七年度	大西水路費簿		二二五	大正 三年度	鶴沼村農會ノ經費收入方法	
一九四	大正 七年度	大西水路費簿		二二六	昭和 一八年度	農業に關する書類	
一九五	大正 七年度	美濃電気鐵道株式會社工敷宿所健康費記	鶴沼区長	二二七	"	國債貯金台帳	
一九六	昭和 五年度	土地寄附額		二二八	昭和 一九年度	農會書類	
一九七	"	"		二二九	"	國債貯金割当表	
一九八	"	"		二三〇	"	國債貯金組合台帳	

(勸業)

二二二	明治四〇年度	共同借代田人名簿		二二二	昭和 六年度	請負契約書	
二二三	"	春金共同人名簿		二二三	昭和 六年度	登記承諾書	鶴沼村
二二四	明治四一年度	事業報告ノ鶴沼第一信用庫先組合		二二四	昭和 六年度	領収書	"
二二五	大正 三年度	鶴沼村農會ノ經費收入方法		二二五	昭和 八年度	承諾書	東
二二六	昭和 一八年度	農業に關する書類		二二六	"	"	南中
二二七	"	國債貯金台帳		二二七	"	"	室東
二二八	昭和 一九年度	農會書類		二二八	"	"	"
二二九	"	國債貯金割当表		二二九	"	"	"
二三〇	"	國債貯金組合台帳		二三〇	"	"	"

二〇 村国真墨田神社所藏文書

(各務原市崎沼山崎町)

(編年のまま)

- 一天正二年 四月 豊臣秀吉判物(木曾・飛騨川採木権)
- 二 宝曆二年 六月 藤原吉春神道裁許状(吉田家)
- 三 藤原吉春可懸居之状()
- 四 寛政四年 三月 後藤若狭正吉智神道裁許状(吉田家)
- 五 寛政七年 八月 延喜式十九神名帳上下
- 六 文化四年 七月 後藤信遺頭影常神道裁許状(吉田家)
- 七 天保二年 二月 後藤出雲頭吉延神道裁許状()
- 八 藤原吉延神道之状(吉田家)
- 九 明治二年 二月 村国真墨田神社由緒書
- 一〇 年月未詳 村国真墨田神社境内(下書)

二一 遠藤忠博氏所藏文書

(各務原市蘇原大島町)

(編年のまま)

- 一天保二年 二月 張納所管帳
- 二 天保三年 二月 〃
- 三 天保四年 二月 御年貢目録帳
- 四 明治三年 正月 金銀取替覚帳
- 五 明治四年 二月 御年貢目録覚帳
- 六 明治六年 一月 天照皇大神宮様
正御年貢目録簿
地券税納通
- 七 明治八年 〃
- 八 明治一〇年 〃
- 九 明治一五年 二月 地券新築費取立簿
- 一〇 明治一六年 一月 小学校費大潮帳
- 一一 明治一六年 〃 議日当通

二三 小林幸彦氏所藏文書

(各務原市蘇原伊吹町)

(編年のまま)

- 一 弘化二年 九月 三拾人講手形
- 二 弘化三年 九月 〃
- 三 弘化四年 三月 〃
- 四 嘉永二年 一月 護証文手形
- 五 嘉永四年 二月 三拾人講手形
- 六 安政二年 三月 新規瓦敷禁止二札
- 七 安政四年 正月 往来手形
- 八 安政四年 二月 借用金手形証文
- 九 安政五年 四月 往来手形
- 一〇 元治二年 正月 奉公人請状
- 一一 元治二年 正月 上木亮渡シ証文(喜兵衛)
- 一二 〃 〃 〃 〃
- 一三 〃 〃 〃 〃
- 一四 〃 〃 〃 〃
- 一五 元治二年 正月 松林亮渡証文
- 一六 文久元年 一月 講金入一札
- 一七 文久二年 九月 酒造屋講渡証文
- 一八 文久三年 二月 畑先渡証文
- 一九 文久四年 二月 畑先渡証文
- 二〇 慶応元年 二月 奉公人手形
- 二一 年月未詳 乍忍手続以上書奉願手帳

二三 坂井 峯氏所藏文書

(各務原市蘇原古市場町)

(編年のまま)

- 一 寛保三年 八月 神事二付次郎左衛門上着用争論内
護証文
- 二 寛延三年 二月 惣吉一家下百姓二付八幡宮神主証言
- 三 宝曆三年 二月 坂井宗大夫木綿手襦免許状(丹羽神
主理輝信)
- 四 宝曆〇年 三月 八幡宮社人坂井惣大夫神祇作法二付
願
- 五 坂井宗重四組木綿手襦免許状(神祇
管領)
- 六 明和二年 二月 八幡宮社名要更願
- 七 明和三年 三月 御外五品代金受取証文
- 八 安永三年 二月 坂井右京吉田家入門に付古市場村役
人請合一札
- 九 安永三年 二月 坂井右京神祇作法に付願
- 一〇 安永三年 三月 藤原宗重把勢浅沓等免許状(神祇管
領)
- 一一 安永 〃 藤原宗重赤色千早免許状(神祇管領)
- 一二 安永三年 三月 加佐美神社社家坂井文議
- 一三 (安永三年?) 藤原宗等四組木綿手襦免許状(神祇
管領)
- 一四 寛政七年 三月 〃

一五 寛政 七年 三月 藤原宗等神道之状(吉田家)

一六 " " 坂井攝津正宗等神道裁許状(吉田家)

一七 文化 五年 正月 坂井大和實弘神道裁許状(吉田家)

一八 文化 八年 二月 坂井和泉正實神道裁許状(吉田家)

一九 " " 坂井大和實弘法令衣冠着月免許状(吉田家公文書)

二〇 天保 二年 二月 坂井攝津正宗神道裁許状(吉田家)

二一 明治 六年 一月 旧神主坂井惣左衛門社守護職願

二二 明治 一年 二月 有橋川宮御染筆模写(為神道修成

二三 即年 正月 派管長新田邦光書)

二四 年未詳 六月 坂井宗重子息許状申請に付、吉田

二五 年未詳 七月 家次司安田喜内返書状

御遷宮用品覚

二四 永田辰夫氏所藏文書

(各務原市藤原坂井町)

(土地關係)

一 明治 元年 二月 反別井田帳(東門村)

二 明治 二年 正月 東門村上書(金田左近衛門田地

三 明治 二年 正月 金田左近衛門田地(下書)

四 明治 三年 正月 御高帳

五 年未詳 岩瀨村山之覺帳

六 別調覽

(賃租關係)

七 天保 二年 二月 丑御年貢配符

八 安政 元年 二月 無田村年々御年貢仕切帳

九 万延 元年 二月 東門村年々御年貢仕切帳

一〇 文久 三年 正月 年々御年貢仕切帳

一一 慶応 二年 二月 寅御年貢米調帳(東門米坂井改覽)

一二 慶応 三年 二月 東門村即年仮免定

一三 慶応 四年 三月 御先納金并年々内小取替出入帳

一四 慶応 戊年 三月 東門村辰年先納金請取帳

一五 慶応 四年 六月 東門村昨即年高帳

一六 慶応 四年 九月 東門村辰年田方立毛内見合付帳

一七 明治 元年 二月 東門村地高覽帳

一八 東門村役銀得出割賦帳

一九 東門村割賦金覽

二〇 東門村御物成役米割賦帳

二一 五月七日出入に付古俵延付留帳

二二 急破普請人足並に諸色覽帳

二三 現切所并損地書之帳

二四 辰年春役普請請入用取調帳

二五 東門村已年普請并諸色覽帳

二六 東門村急破普請箇所渡金之帳

二七 東門村御普請人足覽通

(産業・金融關係)

二八 天保 七年 七月 藤原金子借用証文(おり之宛)

二九 慶応 三年 二月 六兵衛金子借用証文(重右衛門宛)

三〇 明治 四年 三月 小川治左衛門金子請取通(庄屋宛)

三一 明治 三年 二月 御添示講簿

三二 明治 四年 二月 角兵衛金子借用証文(利兵衛宛)

(交通關係)

三三 明治 元年 一月 東門村御伝馬当驗日記帳

三四 助郷人足駄負割

三五 御伝馬人足当驗(御惣代乘中宛)

三六 東門村伝馬人足伝票

三七 万延 元年 二月 出水之御見舞覽帳

三八 明治 四年 九月 野口村入組一件に付入用帳

二一 明治 元年 二月 東門村御年貢賦金覽

二二 明治 二年 二月 先納金并二御未進差引勘定帳

二三 明治 三年 二月 東門村御年貢落問違入用帳

二四 年未詳 二月 六兵衛辰年貢勘定帳

二五 庄屋丑年貢勘定仕切

二六 源平戊年貢勘定仕切

二七 戌年貢勘定仕切

二八 辰年貢勘定仕切

二九 年未詳

三〇 年未詳

三一 年貢勘定覽

三二 長兵衛田畑並高覽

三三 年貢米納覽

三四 年貢勘定仕切

三五 坂井村丑年貢請取覽

(村政關係)

三六 明治 二年 正月 東門村耕地檢図面

三七 明治 四年 四月 村方因窮に付願い書

三八 年未詳 年貢に付願い書

(土木・水利關係)

三九 慶応 三年 六月 即年春役普請請入用調帳

四〇 慶応 四年 三月 秋普請に付請勘定并差引帳

四一 辰年定色普請人足并杭竹覽帳

四二 慶応 四年 四月 辰年春役普請箇所取調帳

附 棟札類目錄

一 手力雄神社所藏棟札類

(那加手力町)

- 一 寛永 五年 二月 吉日 手力雄神社読誦奉納札
- 二 寛永 二年 二月 吉日 手力雄神社読誦奉納札
- 三 承応 二年 九月 吉日 手力雄神社読誦奉納札
- 四 延宝 二年 九月 吉日 樋口八兵衛奉納札
- 五 天和 三歳 九月 吉日 手力雄神社拝殿建立棟札
- 六 天和 三歳 九月 吉日 手力雄神社社殿修造棟札
- 七 天和 三歳 九月 三〇日 手力雄神社社殿修造棟札
- 八 天和 四歳 四月 四日 手力雄神社社殿修造棟札
- 九 元禄 二歳 九月 三日 手力雄神社社殿葺替棟札
- 一〇 元禄 一五歳 閏八月 吉日 手力雄神社社殿葺替棟札
- 一一 元禄 一五歳 閏八月 吉日 手力雄神社社殿修造棟札
- 一二 元禄 一五歳 閏八月 吉日 手力雄神社社殿葺替棟札
- 一三 享保 一歳 一〇月 晦日 手力雄神社社殿葺替棟札
- 一四 享保 一歳 一〇月 吉日 手力雄神社社殿葺替棟札
- 一五 宝暦 四甲戌 四月 五日 手力雄神社社殿建立棟札
- 一六 天明 四甲戌 八月 五日 手力雄神社鳥居建立棟札
- 一七 寛政 三年 八月 九宿 手力雄神社社殿建立棟札
- 一八 文化 元暦 仲冬末丑鳥 遷師堂再興棟札
- 一九 天保 四年 八月 二日 手力雄神社社殿修造棟札
- 二〇 嘉永 七年 七月 吉日 手力雄神社鳥居建立棟札
- 二一 安政 三年 九月 吉日 手力雄神社幣殿拝殿葺替棟札

- 二二 安政 六年 卯月 吉辰 稲荷神社委會再建棟札
- 二三 安政 六年 卯月 吉辰 八幡神社委會再建棟札
- 二四 明治 六年 三月 二〇日 手力雄神社彌宜茂野家世代譜
- 二五 昭和 四年 四月 六日 手力雄神社社殿修造棟札
- 二六 昭和 二年 四月 三日 手力雄神社社殿葺替棟札
- 二七 昭和 三年 七月 吉日 手力雄神社鳥居修造棟札
- 二八 昭和 三年 四月 一〇日 手力雄神社社殿建立棟札
- 二九 昭和 四年 三月 二五日 手力雄神社會館建立棟札
- 三〇 昭和 四年 四月 吉日 手力雄神社祭文殿拝殿再建棟札

二 村上神社所藏棟札類

(那加長塚町二)

- 一 元禄 一歳 六月 吉祥日 村神社社殿建立棟札
- 二 元禄 一歳 六月 吉日 村神社社殿建立棟札
- 三 延享 四年 (月日未詳) 村上神社殿再興棟札
- 四 安政 二年 九月 二六日 村上神社殿再興棟札
- 五 明治 八年 七月 二五日 那家茂知村神社棟札
- 六 明治 九年 八月 八日 村上神社拝殿再建棟札
- 七 大正 元年 九月 八日 村上神社社殿修造棟札
- 八 昭和 九年 九月 吉日 村上神社社算格記念札

三 八幡神社所藏棟札類

(那加山後町二)

- 一 宝永 乙酉 一月 七日 牛頭天王社社殿建立棟札
- 二 寛延 二歳 三月 四日 神楽奉納札
- 三 宝暦 三年 正月 四日 秋葉神社社殿建立棟札
- 四 安永 七年 五月 五日 八幡神社社殿葺替棟札
- 五 文政 〇年 閏六月 吉日 寄進茨奉納札
- 六 文政 十有二 曆 五月 五日 牛頭天王社社殿再興棟札

四 諏訪神社所藏棟札類

(那加桐野町五)

- 一 慶長 六年 仲秋 吉日 諏訪神社社殿建立棟札
- 二 正保 二年 三月一日 諏訪神社社殿建立棟札
- 三 万治 三年 九月 吉日 諏訪神社社殿建立棟札
- 四 寛文 二年 九月 吉禰日 諏訪神社社殿建立棟札
- 五 正徳 六年 七月 吉日 諏訪神社社殿葺替棟札
- 六 宝曆 八年 三月三日 諏訪神社社殿葺替棟札
- 七 寛政 一年 正月 大吉禰日 諏訪神社社殿葺替棟札
- 八 文化 二年 (月日未詳) 諏訪神社社殿葺替棟札
- 九 天保 五年 三月 五日 諏訪神社社殿葺替棟札

五 神明神社所藏棟札類

(那加西市場町五)

- 一 元禄 元年 八月 吉日 神明神社社殿建立棟札
- 二 享保 一年 六月 四日 富士権現神社殿建立棟札
- 三 一年 月日未詳 神明神社社殿建立棟札

六 濟縁寺鎮守社所藏棟札類

(那加前野町一)

- 一 元禄 三年 九月 一鳥 鎮守神社殿修造棟札
- 二 元文 元年 五月 吉日 鎮守神社殿修造棟札
- 三 寛延 一歳 仲冬 上流 鎮守神社殿修造棟札
- 四 昭和 三年 八月 二日 鎮守神社殿修造棟札

七 御井神社所藏棟札類

(二并町五)

- 一 享保 九年 一月 吉禰 武運長久奉納札
- 二 寛政 元年 九月 吉日 御井神社島居再建棟札
- 三 明治 四年 九月 吉日 御井神社島居再建棟札
- 四 明治 三年 二月 八日 御井神社社殿修造棟札
- 五 昭和 六年 一月 御井神社社殿建立棟札

八 春日神社所藏棟札類

(上戸町三)

- 一 延宝 五年 二月 吉祥日 春日神社殿修造棟札
- 二 天和 二年 九月 八日 天照皇大神御撰得札
- 三 正徳 三年 今月 吉日 春日神社殿葺替棟札
- 四 文政 九年 二月 下旬 不動尊喫摩供養札
- 五 安政 二年 九月 十六日 春日神社殿再興棟札
- 六 明治 三年 八月 三日 春日神社殿修造棟札
- 七 明治 四年 三月 四日 春日神社殿建立棟札

九 天神神社所藏棟札類

(下中屋町三)

- 一 慶長 九年 八月 吉日 藤大明神社拝殿建立棟札
- 二 慶長 二年 二月 〇日 天照皇大神社殿建立棟札
- 三 慶長 二曆 二月 〇日 天神神社殿建立棟札
- 四 元禄 五年 六月 十五日 天神神社殿建立棟札
- 五 寛政 二庚申 六月 天神神社殿葺替棟札
- 六 慶応 二年 一月 六日 天神神社高殿建立棟札
- 七 明治 四年 (月日未詳) 天神神社社務所建立棟札
- 八 昭和 五年 一月 五日 天神神社社殿葺替棟札
- 九 昭和 八年 一月 一日 天神神社社殿葺替棟札
- 一〇 昭和(三年) 天神神社社殿修造棟札
- 一一 昭和(五年) 天神神社社殿葺替棟札
- 一二 昭和(三年) 一月 五日 天神神社社務所建立棟札
- 一三 昭和(七年) 一月 九日 天神神社社殿葺替棟札
- 一四 昭和(三年) 一月 吉日 天神神社神楽建立棟札
- 一五 昭和(三九歳) 天神神社水屋建立棟札
- 一六 昭和(四七年) 八月 天神神社社殿葺替棟札
- 一七 昭和(五年) 三月 四日 天神神社社殿修造棟札
- 一八 昭和(五年) 三月 一日 天神神社社殿葺替棟札

一〇 春日神社所藏棟札類

(下中屋町三)

- 一 享保 一八歳 九月 九日 天照皇大神社社殿葺替棟札
- 二 享保 一八歳 九月 九日 風三郎社社殿葺替棟札
- 三 宝暦 六年 九月 日 春日神社社殿葺替棟札
- 四 安永 三年 三月 日 春日神社社殿葺替棟札
- 五 天明 七年 三月 吉日 天照皇大神社社殿葺替棟札
- 六 天明 七年 三月 吉日 風三郎社社殿葺替棟札
- 七 天明 八年 八月 日 春日神社高殿建立棟札
- 八 享和 元年 四月 吉日 風三郎社社殿再興棟札
- 九 文化 元歳 九月 吉辰 春日神社社殿修造棟札
- 一〇 文化 一五天 二月 吉日 春日神社玉垣建立棟札
- 一一 安政 三歳 一〇月 晦日 春日神社社殿再興棟札
- 一二 安政 三歳 一月 〇日 天照皇大神社社殿再興棟札
- 一三 安政 三年 一月 〇日 風三郎社社殿再興棟札
- 一四 (年月日未詳) 春日神社殿建立棟札
- 一五 明治 四年 二月 日 春日神社社殿葺替棟札
- 一六 明治 四歳 二月 日 天照皇大神社社殿葺替棟札
- 一七 明治 四歳 二月 日 風三郎社社殿葺替棟札
- 一八 明治 六年 八月 一七日 春日神社社殿葺替棟札

一一 西宮神社所藏棟札類

(下中屋町三)

- 一 元文 五歳 九月 日 西宮神社社殿再興棟札
- 二 天明 七年 三月 吉日 西宮神社社殿葺替棟札
- 三 天保 九年 四月 吉日 西宮神社社殿修造棟札
- 四 安政 二歳 九月 吉辰 西宮神社社殿葺替棟札

一一二 八幡神社所蔵棟札類

(神置町三)

- 一 正徳二年 九月吉禰日 八幡神社社殿普修棟札
- 二 天保一五年 七月 吉日 大峯社護摩供養札
- 三 昭和九年 四月二五日 八幡神社拝殿祭文殿手洗所再造棟札
- 四 昭和四三年一〇月 吉日 八幡神社渡殿再造棟札

一一三 社宮神社所蔵棟札類

(成清町七)

- 一 宝永二歳 九月二九日 社宮神社拝殿造立棟札

一一四 神明神社(石瀬神社)所蔵棟札類

(前渡長平)

- 一 天正三年 正月 吉日 神明神社殿造立棟札
- 二 慶安二年 正月 吉日 神明神社殿造立棟札
- 三 寛文八年 七月吉禰日 造宮氏子連名札
- 四 享保五年 二月 吉日 造宮氏子連名札
- 五 (年月日未詳) 造宮氏子連名札
- 六 明治二年 三月 吉日 石瀬神社社殿造立棟札写
- 七 明治三年 二月一六日 石瀬神社社殿再造棟札
- 八 明治四年 一〇月一五日 石瀬神社社殿再興棟札
- 九 明治三五年 三月 吉日 石瀬神社鳥居建立棟札
- 一〇 昭和四六年 八月二五日 神明神社社殿造立棟札

一一五 神明神社所蔵棟札類

(前渡東町)

- 一 昭和三七年 二月 神明神社社殿修造棟札

一六 村国真墨田神社所藏棟札類

(鶴沼山崎町)

- 一 天正〇仁徳 八月大吉日 村国南宮神社殿造立棟札
- 二 天正二年 八月 吉日 真墨田南宮神社殿造立棟札
- 三 承応二年 仲秋吉辰 村国南宮神社殿修造棟札
- 四 延宝二歳 仲秋吉祿日 村国南宮神社殿修造棟札
- 五 元禄五歳 七月一日 村国真墨田神社殿修造棟札
- 六 享保八年 八月 吉日 南宮神社殿修造棟札
- 七 寛延四歳 八月 吉日 南宮神社殿修造棟札
- 八 明和六歳 二月吉曜日 南宮金山彦社殿修造棟札
- 九 安永八年 七月 吉日 南宮神社石垣中門修造棟札
- 一〇 天明六年 六月二日 村国南宮神社殿修造棟札
- 一一 寛政四年 八月五日 村国南宮神社拜殿再造棟札
- 一二 寛政八年 七月 吉日 村国南宮神社願奉納札
- 一三 寛政二年 四月 七日 村国南宮神社殿修造棟札
- 一四 文政十天 月日未詳 武連長久稻願奉納札
- 一五 弘化四徳 八月 六日 村国南宮神社祝詞殿中門修造棟札
- 一六 安政二年 八月 吉日 村国真墨田神社拜殿造立棟札
- 一七 安政二年 八月二日 村国真墨田神社拜殿造立棟札
- 一八 明治二年 八月 吉日 村国真墨田神社殿修造棟札
- 一九 明治三年 二月三日 村国真墨田神社祭文殿再造棟札
- 二〇 明治三年 初秋 村国真墨田神社殿造立棟札

一七 神明神社所藏棟札類

(鶴沼三ツ池町二)

- 一 寛政九年 四月 吉辰 神明神社拜殿造立棟札
- 二 文化六年 六月五日 神明神社殿葺替棟札
- 三 文化二年 一月六日 神明神社中門建立棟札
- 四 弘化四年 八月 六日 神明神社殿造立棟札
- 五 安政二年 八月 九日 神明神社殿造立棟札
- 六 明治九年 五月二日 神明神社殿修造棟札
- 七 明治七年 四月 神明神社殿葺替棟札
- 八 大正二癸亥 二月吉辰 神明神社殿修造棟札
- 九 大正三年 四月 神明神社幣殿造立棟札
- 一〇 (年月)日 未詳 神明神社幣殿造立棟札
- 一一 昭和四八年 (月日未詳) 神明神社殿造立棟札

二一 明治二年 五月

二二 明治五年 一月

二三 大正五歳 二月

二四 昭和五年 五月

二五 昭和五年 八月

二六 昭和五年 八月

二七 昭和五年 八月

二八 昭和七年 一月

- 村国真墨田神社殿修造棟札
- 村国真墨田神社殿修造棟札
- 村国真墨田神社殿葺替棟札
- 村国真墨田神社拜殿造立棟札
- 村国真墨田神社殿葺替棟札
- 村国真墨田神社殿葺替棟札
- 村国真墨田神社殿葺替棟札
- 村国真墨田神社石垣修造棟札
- 村国真墨田神社参道修造棟札
- 村国真墨田神社境内社殿再興棟札

一八 津島神社所藏棟札類

(鶴沼羽場町)

- 一 元禄三歳 八月 吉日 牛頭天王社社殿修造棟札
- 二 宝永八歳 二月 吉日 牛頭天王社社殿修造棟札
- 三 宝曆八戊寅 二月 吉辰 牛頭天王社社殿修造棟札
- 四 安永九年 八月 六日 神明神社相殿再造棟札
- 五 寛政五癸巳 六月一日 牛頭天王社拜殿再造棟札
- 六 文化一五年四月 一七吉辰日 牛頭天王社相殿造立棟札
- 七 文政一年 八月 八朔 牛頭天王社社殿造立棟札
- 八 弘化二年 四月三日 牛頭天王社拜殿再造棟札
- 九 明治九年 五月二日 津島神社殿葺替棟札
- 一〇 明治六年 一月二日 津島神社殿再興棟札
- 一一 明治六年 一月二日 小野宮神社殿再興棟札
- 一二 明治六年 一月二日 宇津木神明社殿再興棟札
- 一三 明治三年 二月一日 神明神社殿葺替棟札
- 一四 明治三年 二月一日 小野宮神社殿葺替棟札

一九 愛宕神社所藏棟札類

(松が丘一)

- 一 万治 二歲 臘月吉祥日 愛宕神社社殿再興棟札
- 二 正徳 三年 三月二〇日 愛宕神社社殿再興棟札
- 三 元文 五年 七月吉祥日 大峯社護摩供養札
- 四 元文 五年 七月吉祥日 大峯社護摩供養札
- 五 文政 三歲 七月一八日 大峯社三度登山供養札
- 六 明治 六年 田二月八日 地藏堂再興棟札
- 七 大正 八年 一〇月二四日 地藏堂再興棟札

二〇 赤坂神社所藏棟札類

(鶴沼東町二)

- 一 正保 四年 林鐘二三日 天王社社殿再興棟札
- 二 明曆 四歲 暮春八日 牛頭天王社社殿再興棟札
- 三 享保 元歲 八月初九日 牛頭天王社社殿再興棟札
- 四 元文 三歲 二月一六日 牛頭天王社社殿再興棟札
- 五 寛延 四歲 二月吉曜日 牛頭天王社社殿修造棟札
- 六 宝曆 一三年 六月 天王社社殿再興棟札
- 七 明和 七年 四月〇日 天王社社殿修造棟札
- 八 嘉永 二 六月 吉日 牛頭天王社祭札取帳札

二一 北野天神社所藏棟札類

(鶴沼山崎町四)

- 一 明治 四四年 三月二五日 北野天神社社殿修造棟札
- 二 大正 二歲 二月 北野天神社鳥居社標玉垣建立棟札
- 三 昭和 六年 二月二五日 北野天神社社殿再興棟札
- 四 昭和 二八年 二月二五日 北野天神社社殿再興棟札

二二 神明神社所藏棟札類

(鶴沼古市場町二)

- 一 享保 八年 二月 吉日 神明神社社殿建立棟札
- 二 元文 五歲 閏七月 吉日 神明神社社殿建立棟札
- 三 明和 七年 六月 吉日 神明神社社殿再興棟札
- 四 安永 〇年 四月 吉日 神明神社社殿建立棟札
- 五 文化 二年 四月吉祥日 神明神社社殿修造棟札
- 六 嘉永 六年 二月 吉日 神明神社社殿再興棟札
- 七 嘉永 六年 二月宝珠日 神明神社社殿再興棟札
- 八 元治 二年 三月 三日 天照皇太神宮燈籠建立棟札
- 九 明治 一六年 三月 吉日 神明神社社殿再興棟札
- 一〇 明治 四一年 四月 吉日 神明神社社殿建立棟札
- 一一 明治 四一年 一月 神明神社社殿修造棟札
- 一二 大正 五年 四月一六日 神明神社鳥居建立棟札
- 一三 大正 五年 二月 神明神社社殿修造棟札
- 一四 大正 三年 一月 神明神社社殿再興棟札
- 一五 大正 五年 二月一八日 神明神社祭文殿建立棟札
- 一六 昭和 二六年 四月一六日 神明神社社殿再興棟札
- 一七 昭和 五四年 二月 七日 神明神社社殿修造棟札

二三 熊野神社所蔵棟札類

(鶴沼大伊木町)

- 一 文政〇年 六月 吉日 熊野神社社殿葺替棟札
- 二 文政〇年 六月二日 熊野神社社殿葺替棟札
- 三 天保五年 三月三日 熊野神社社殿再興棟札
- 四 天保五年 六月吉祥日 熊野神社社殿葺替棟札
- 五 明治二年 八月一日 熊野神社社殿修造棟札
- 六 明治〇年 六月 熊野神社社殿修造棟札
- 七 明治三年 一月 吉日 熊野神社社殿修造棟札
- 八 明治四年 一月 熊野神社社殿修造棟札
- 九 昭和二年 二月二六日 熊野神社社殿修造棟札
- 一〇 昭和五年 九月二〇日 熊野神社社殿葺替棟札

二四 村国神社所蔵棟札類

(各務おがせ町)

- 一 享徳〇〇年 霜月 吉日 大工藤原氏奉納札
- 二 寛永二年 二月初七日 白山神社殿造立棟札
- 三 慶安三年 一月吉祥日 白山神社殿葺替棟札
- 四 寛文七年 七月三日 白山神社殿再興棟札
- 五 元禄四年 秋 白山社葺造立棟札
- 六 元禄〇〇歳 夏林鐘吉祥日 白山社社殿修造棟札
- 七 文文五歳 霜月 吉日 白山社御旅殿造立棟札
- 八 延享二歳 四月九日 白山社社殿再興棟札
- 九 安永九年 七月八日 白山社殿葺替棟札
- 一〇 寛政二歳 二月一日 白山社前庭再造棟札
- 一一 寛政〇〇歳 九月九日 村国神社鳥居再建棟札
- 一二 享和三年 六月吉祥日 村国神社社殿再興棟札
- 一三 文政三年 八月八日 白山社社殿葺替棟札
- 一四 文政七年 閏八月 吉日 白山社神座再造棟札
- 一五 弘化四丁未 三月 吉日 白山社社殿葺替棟札
- 一六 慶応三年 九月大祥吉日 白山社社殿葺替棟札
- 一七 明治五年 九月 日 村国神社社殿修造棟札
- 一八 大正二年 一〇月 村国神社社殿修造棟札
- 一九 大正二年 一〇月 村国神社社殿修造棟札
- 二〇 大正六年 九月八日 村国神社社殿修造棟札
- 二一 大正一〇年 六月一日 村国神社社殿修造棟札
- 二二 昭和四年 三月二六日 村国神社社殿造立棟札
- 二三 昭和三年 一〇月一日 村国神社社務所造立棟札

- 二四 昭和三年 一〇月一日 村国神社社殿修造棟札
- 二五 昭和四年 五月五日 村国神社社殿葺替棟札
- 二六 元年 月 日 未詳 降雨折願札
- 二七 元禄一六歳 季秋一八日 白山大権現社額
- 二八 天明 元年 八月 日 村国白山宮社額

二五 八幡神社所蔵棟札類

(須衛町七)

- 一 元禄一六年 霜月 朔日 八幡神社社殿造立棟札
- 二 享保一七年 二月 吉日 八幡神社社殿葺替棟札
- 三 安永八歳 (月日未詳) 八幡神社社殿葺替棟札
- 四 寛政八歳 正月吉祥日 八幡神社社殿葺替棟札
- 五 文化七年 二月吉祥日 八幡神社社殿造立棟札
- 六 文政八甲申 孟夏 八幡神社社殿葺替棟札
- 七 天保六年 二月吉祥日 八幡神社鳥居建立棟札
- 八 天保六年 六月吉祥日 八幡神社社殿造立棟札
- 九 天保一年 三月大吉祥日 八幡神社社殿葺替棟札
- 一〇 安政二年 二月初七吉祥日 八幡神社社殿葺替棟札
- 一一 明治三年 三月三日 八幡神社社殿葺替棟札
- 一二 明治三年 三月六日 八幡神社社殿修造棟札
- 一三 明治九年 四月八日 八幡神社社殿葺替棟札
- 一四 明治三五年 三月七日 八幡神社社殿造立棟札
- 一五 大正七年 (月日未詳) 八幡神社社殿修造棟札

二六 神明神社所蔵棟札類

(須衛町五)

- 一 明曆 元年 七月 吉日 大峯社護摩供養札
- 二 享保〇歳 六月大吉日 州原白山地鎮祭奉納札
- 三 享保二年 二月 吉日 神明神社殿再興棟札
- 四 享保〇天 林 鐘月 神明神社島居修造棟札
- 五 享保 元年 黃鐘 吉日 神明神社拝殿葺替棟札
- 六 享保 四年 二月 吉日 神明神社殿葺替棟札
- 七 享延 二年 〇月 吉日 神明神社拝殿葺替棟札
- 八 安永 二年 〇月 吉日 神明神社護摩供養札
- 九 安永 六年 二月 吉日 神明神社島居建立棟札
- 一〇 寛政 八年 九月 吉祥日 神明神社殿葺替棟札
- 一一 享和 元年 四月 吉祥日 神明神社殿葺替棟札
- 一二 文政〇丁亥 二月 二日 神明神社殿葺替棟札
- 一三 文政二年 二月 朔日 神明神社波敷位垣建立棟札
- 一四 文政二己丑 二月 吉祥日 神明神社島居修造棟札
- 一五 文政三年 二月 吉日 神明神社證明建立棟札
- 一六 嘉永 五年 三月二〇日 神明神社殿葺替棟札
- 一七 明治 六年 六月 吉祥日 神明神社神殿葺替棟札
- 一八 明治 六年 七月 吉辰 神明神社社殿修造棟札
- 一九 大正 四年 三月二日 神明神社拝殿修造棟札

二七 加佐美神社所蔵棟札類

(蘇原古市場町五)

- 一 応永二季 八月 日 放生会御頭の次第
- 二 正保 四年 暮春 吉辰 八幡神社社殿葺替棟札
- 三 寛保 〇年 暮生 吉日 八幡神社社殿葺替棟札
- 四 慶安 五年 卯月二四日 八幡神社社殿建立棟札
- 五 寛文 三年 三月 吉日 八幡神社社殿修造棟札
- 六 寛文 七曆 正月 吉日 觀音堂再興棟札
- 七 延宝 三曆 三月 念日 八幡神社社殿葺替棟札
- 八 貞享 四年 八月 吉祥日 八幡神社殿再興棟札
- 九 貞享 四年 仲秋 吉曜日 八幡神社社殿建立棟札
- 一〇 元禄二曆 仲春 八日 觀音堂再興棟札
- 一一 宝永 三歳 仲秋如意珠日 神明神社社殿建立棟札
- 一二 正徳 三年 七月 吉日 若宮八幡宮島居修造棟札
- 一三 正徳 五年 八月 吉日 八幡宮内仏作寛札
- 一四 正徳 五末 八月 吉日 若宮八幡宮島居寄進札
- 一五 二徳 五年 八月 穀日 弥陀仏坐殿開張奉書
- 一六 二徳 六徳 二月 八日 觀音堂再興棟札
- 一七 享保 三歳 二月 九日 八幡神社社殿修造棟札
- 一八 享保 九年 三月 五日 觀音堂修造棟札
- 一九 元文 三年 卯月 上旬 吉祥日 八幡神社社殿葺替棟札
- 二〇 元文 四年 吉日 八幡神社社殿建立棟札
- 二一 寛保 二王成 二月 二日 御銀神社殿建立棟札
- 二二 寛保 二年 四月 吉日 八幡神社社殿建立棟札
- 二三 寛保 二年 二月 二日 御銀神社殿建立棟札

二八 八坂神社所蔵棟札類

(蘇原伊吹町一)

- 二四 延享 三歳 二月初八日 八幡神社社殿建立棟札
- 二五 寛延 二年 三月 日 觀音堂葺替棟札
- 二六 寛延 三歳 正月 吉日 御銀神社殿葺替棟札
- 二七 宝曆 二歳 三月 吉日 八幡神社島居修造棟札
- 二八 宝曆 五年 八月 日 秋葉神社社殿建立棟札
- 二九 宝曆 六甲子 八月 二日 八幡神社社殿修造棟札
- 三〇 明和 八歳 三月 吉日 御銀神社殿葺替棟札
- 三一 明和 八歳 八月 吉日 八幡神社島居修造棟札
- 三二 安永 三甲午 正月 七日 秋葉神社門并戸葺替棟札
- 三三 安永 三甲午 七月 九日 秋葉神社社殿葺替棟札
- 三四 安永 四歳 八月 朔日 八幡神社社殿修造棟札
- 三五 天明五己巳 八月 朔日 加佐美八幡神社社殿修造棟札
- 三六 天明八戊申 霜月 二日 御銀神社殿建立棟札
- 三七 天明八戊申 霜月 二日 秋葉神社社殿建立棟札
- 三八 寛政 三辛亥 五月 吉日 加佐美若宮八幡神社社殿修造棟札
- 三九 寛政 二年 八月 八日 加佐美八幡神社社殿修造棟札
- 四〇 享和 二年 三月 三日 御銀神社殿再興棟札
- 四一 文化 三年 一〇月 四日 秋葉神社社殿葺替棟札
- 四二 文化 四年 七月 四日 八幡神社島居再建棟札
- 四三 文化 九年 二月 六日 加佐美八幡神社社殿修造棟札
- 四四 文政 五年 六月 五日 八幡神社社殿修造棟札
- 四五 嘉永 三歳 七月 二日 八幡神社社殿修造棟札
- 四六 万延 元歳 閏三月 〇日 八幡神社門位垣建立棟札
- 四七 明治 二年 八月 朔日 加佐美神社社殿修造棟札
- 四八 明治 四歳 七月 四日 加佐美神社島居建立棟札

- 一 寛永二年 二月 吉日 牛頭天王社社殿修造棟札
- 二 寛永〇年 卯月 吉日 牛頭天王社社殿建立棟札
- 三 (年) 月 日 未詳 牛頭天王社社殿建立棟札
- 四 永承 二年 八月 念五日 牛頭天王社社殿建立棟札
- 五 万治 二年 二月 八日 神明神社社殿建立棟札
- 六 寛文 二年 七月 〇日 牛頭天王社社殿建立棟札
- 七 寛文 四曆 八月 念八日 牛頭天王社社殿建立棟札
- 八 寛文 二曆 仲春 念三日 牛頭天王社社殿建立棟札
- 九 天明 二歳 暮春 吉祥日 牛頭天王社社殿建立棟札
- 一〇 貞享 元年 林 鐘月 牛頭天王社社殿再興棟札
- 一一 元禄 七歳 初夏 吉祥日 愛宕神社社殿建立棟札
- 一二 元禄 七歳 仲春 吉祥日 天照皇大神宮社殿建立棟札
- 一三 宝永 三丙戌 冬 如意珠日 天照皇大神宮社殿修造棟札
- 一四 宝永 四年 七月 吉日 天照皇大神宮社殿修造棟札
- 一五 宝永 六歳 臘月 如意珠日 天照皇大神宮社殿建立棟札
- 一六 宝永 八癸卯 臘月 如意珠日 愛宕神社社殿建立棟札
- 一七 宝永 八癸卯 孟夏 如意珠日 山王神社殿建立棟札
- 一八 享保 八年 七月 吉日 大峯山護摩供養札
- 一九 享保 八年 七月 吉日 大峯山護摩供養札
- 二〇 享保 八癸卯 七月 吉日 大峯山護摩供養札
- 二一 享保 八癸卯 七月 吉日 山王神社社殿修造棟札
- 二二 享保 一丙午 暮春 吉祥日 山王神社社殿修造棟札
- 二三 元文 二歳 〇月 〇日 愛宕神社殿葺替棟札

- 二四 元文 二歲 中夏 中旬 神明神社殿葺替棟札
 二五 元文 二歲 六月 下旬 山王社社殿葺替棟札
 二六 延享 元甲子 仲夏 下旬 牛頭天王社殿修造棟札
 二七 宝曆 七丑 六月 五日 牛頭天王社殿修造棟札
 二八 宝曆 七年 二月 秋葉神社社殿建立棟札
 二九 明和 四亥 六月 一日 牛頭天王社社殿修造棟札
 三〇 安永 四歲 九月 二四日 秋葉神社社殿建立棟札
 三一 安永 四年 九月 二四日 山王社社殿建立棟札
 三二 安永 四年 (月日未詳) 神明神社社殿建立棟札
 三三 天明 六丙午 閏一〇月 吉辰 牛頭天王社殿修造棟札
 三四 文化 二歲 二月 吉祥日 牛頭天王社殿葺替棟札
 三五 天保 二年 八月 吉日 牛頭天王社社殿建立棟札
 三六 弘化 四年 一〇月 日 牛頭天王社瑞籬門建立棟札
 三七 嘉永 二歲 六月 吉日 牛頭天王社殿修造棟札
 三八 安政 五歲 九月 四日 牛頭天王社社殿修造棟札
 三九 (年) 月 日 未詳 降雨祈願札

二一九 八幡神社所藏棟札類

(蘇原坂井町)

- 一 明和 六年 三月 吉日 八幡神社社殿建立棟札
 二 昭和 三五年 三月 六日 八幡神社社殿建立棟札
 三 昭和 三六年 三月 一八日 八幡神社社殿建立棟札
 四 昭和 四九年 七月 五日 八幡神社社殿葺替棟札

三〇 津島神社所藏棟札類

(蘇原東島町)

- 一 宝永 六年 二月 三日 牛頭天王社社殿修造棟札
 二 文政 一〇年 (月日未詳) 大塚山護摩供養札
 三 嘉永 三年 六月 吉祥日 牛頭天王社社殿再興棟札
 四 嘉永 七年 七月 吉日 秋葉神社社殿建立棟札
 五 安政 二年 三月 二日 大塚山護摩供養札
 六 明治 二年 三月 一八日 稲荷神社社殿建立棟札
 七 明治 三庚午 六月初六日 牛頭天王社社殿葺替棟札
 八 明治 三年 九月 五日 稲荷神社社殿葺替棟札
 九 明治 三年 九月 五日 秋葉神社社殿葺替棟札
 一〇 明治 一〇年 六月 一五日 稲荷神社社殿葺替棟札
 一一 明治 一〇年 六月 一五日 秋葉神社社殿葺替棟札
 一二 明治 一〇年 六月 一五日 津島神社社殿葺替棟札
 一三 明治 三年 二月 三〇日 津島神社社殿葺替棟札
 一四 明治 四五年 六月 一一日 津島神社社殿再造棟札
 一五 大正 元年 一〇月 三日 津島神社社殿修造棟札
 一六 大正 三年 二月 一一日 津島神社玉頭建立棟札
 一七 大正 四年 五月 二〇日 津島神社社殿葺替棟札
 一八 昭和 一五年 三月 三日 津島神社祭文殿殿建立棟札
 一九 昭和 一九年 五月 一一日 津島神社須大命廳建立棟札
 二〇 昭和 一九年 一〇月 一五日 津島神社社殿葺替棟札
 二一 昭和 三〇年 二月 津島神社石垣建立棟札
 二二 昭和 三九年 九月 二七日 津島神社社殿修造棟札
 二三 (年) 月 日 未詳 降雨祈願札

- 二四 (年) 月 日 未詳
 二五 (年) 月 日 未詳
 二六 (年) 月 日 未詳

牛頭天王社奉納札
 秋葉神社奉納札
 稲荷神社奉納札

三一 日吉神社所藏棟札類

(蘇原熊田町一)

- 一 治承二年 二月二日 三王社社殿造立棟札
- 二 正保二年 六月 仲初 三王社社殿造立棟札
- 三 寛文二年 九月二九日 三王社社殿造立棟札
- 四 延宝七年 二月 吉日 熊野神社社殿造立棟札
- 五 宝永 四藏 林鐘初四日 熊野神社社殿造立棟札
- 六 正徳 五稔 二月一八日 山王社社殿造立棟札
- 七 享保二年 四月 晦日 熊野神社社殿修造棟札
- 八 享保二年 二月 吉日 日吉神社島居建立棟札
- 九 享保四年 三月五日 三王社社殿造立棟札
- 一〇 宝曆 五年 三月 吉日 熊野神社社殿造立棟札
- 一一 宝曆 六年 九月二日 三王社社殿葺替棟札
- 一二 安永 五稔 九月大吉祥日 熊野神社社殿修造棟札
- 一三 天明八戌申 九月二五日 山王社社殿造立棟札
- 一四 寛政六年 八月二日 三王社島居修造棟札
- 一五 文化一乙丑 四月 三王社社殿葺替棟札
- 一六 文化一歲 二月四日 熊野神社社殿修造棟札
- 一七 文政六癸未 四月〇日 山王社社殿造立棟札
- 一八 弘化 五藏 二月 朔日 山王社社殿造立棟札
- 一九 嘉永 四年 林鐘 吉日 熊野神社社殿葺替棟札
- 二〇 慶応二年 八月 五 山王社島居修造棟札
- 二一 慶応一丙寅 八月 五日 伏業神社社殿修造棟札
- 二二 慶応二年 八月 五日 熊野神社社殿修造棟札
- 二三 明治二年 七月二日 山王社社殿造立棟札

- 二四 明治四辛未 八月 朔日 熊野神社社殿造立棟札
- 二五 明治一七年 一〇月 吉日 熊野神社社殿葺替棟札
- 二六 明治二年 九月九日 日吉神社社殿葺替棟札
- 二七 明治二年 二月三日 伏業神社社殿修造棟札
- 二八 明治三年 二月三日 熊野神社社殿修造棟札
- 二九 明治六年 一月七日 日吉神社社殿修造棟札
- 三〇 明治四四年 一月六日 合祀記念札
- 三一 大正三年 四月六日 日吉神社幣殿修造棟札
- 三二 昭和四年 二月七日 日吉神社幣殿修造棟札
- 三三 昭和三年 二月七日 日吉神社社殿造立棟札

未詳

三二 神明神社所藏棟札類

(蘇原六軒町三)

- 一 寛政三年 八月 九日 天照皇太神社社殿再興棟札
- 二 寛政三年 八月 九日 天照皇太神社社殿再興棟札
- 三 文政二年 八月一日 天照皇太神社社殿再興棟札
- 四 天保一〇歲 九月 吉日 天照皇太神社社殿修造棟札
- 五 明治七年 九月 九日 神明神社社殿葺替棟札
- 六 明治四年 一〇月 吉日 神明神社社殿葺替棟札
- 七 明治三年 一月末九鳥 神明神社社殿造立棟札
- 八 明治四三庚 二月中旬 神明神社社殿造立棟札
- 九 明治四四年 一月 中 神明神社社殿建立棟札
- 一〇 昭和一〇年 一〇月 吉日 神明神社社殿修造棟札
- 一一 昭和一年 三月 一日 神明神社幣殿造立棟札
- 一二 昭和一年 三月 一日 神明神社社殿造立客附書札
- 一三 昭和一年 三月 吉日 神明神社島居再建棟札
- 一四 昭和五六年 三月二九日 神明神社社殿修造棟札
- 一五 一年 月 日 未詳 隣街祈願札

各務原市域における近世の神社と社家について

一 現況

岐阜県総務部総務課が調査した、昭和四二年二月時点で登録されている、岐阜県下所在の宗教学に於いては、各務原市域で神社本庁に属している宗教学法人は八十八社ある。

このうち「延喜式」飛鳥神社、村国真墨田神社・加佐美神社、御井神社があげられる。その他にも、近世に於いて周辺地域に大きな影響力を与えていた神社として、手力雄神社と土屋の天神社も「延喜式」に記載されている。以上七社は、各務原市域にある神社の中では、周辺地域に影響の大きかつた主要な神社といつてよく、明治前期には、飛鳥田神社と天神神社以外の五社は、いずれも郷土に指定された。

ところで、これらの七社は、近世にはいずれも世襲の社家を有し、それによつて連帯されていたことがわかつている。ただ飛鳥田神社は、現市域領域の神社のうち平安時代成立の「美濃国神名帳」に収録されている中で、番官階が高いのであるが、同社の社主は、中世には加佐美神社の社主が兼帯しており、近世に入つてから、一時、社主家の分家によつて社主職を務められたこともあつたようである。しかし、近世において大半の時期が、加佐美神社の社家の兼帯によつた。また、土屋の天神神社は、社家の絶えたため、幕末期手力雄神社の浅野家が兼務するところとなつた。一方、現在もなお常勤の社職を有しているのは、加佐美神社の社家・手力雄神社と村国真墨田神社だけである。その他に、加佐美神社の旧社家であつた坂井家・村国神社の旧社家であつた五島家の二家が各務原市域に現存している。それ以外の社家については、御井神社の岩井家現職の神職は「天神神社の河田家などのように各務原市域を離れた社家もあり、社家に伝わつていた古文書等も現存するかどうかは確認できない状態である。幸いに現存する浅野家・坂井家・後述する、若干ではあるがそれれ古文書等が伝わっている。従つて、各務原市域の近世における神社と社家の様相を知るには、まず、以上の二家に伝わる関係文書にあたるのが先決であると思われる。

二 主な神社の概要

さて、三家の古文書にある前に、前述の七社について概要をおさそえたい。順番は神位上五十番順とした。

飛鳥田神社 各務原市蘇原北山町三丁目内に鎮座する。現在、「延喜式」神名帳式内社の「各務原七座」の一つに比定されている。また、「美濃国神名帳」の正三位飛鳥田明神に比定され帳内社の一つに数えられる。美濃国各務原に鎮座する帳内社の中では、一番神階が高かつた。祭神は不詳であるが、一説に「大天津日子命」とされている。

近世において、飛鳥田神社は、古市場村に立地し、同村の鬼門に位置している関係上、鬼門大明神と通称されていた。飛鳥田神社の立地する北山に帯は、飛鳥田神社の山頂の対象となつた地域である。飛鳥田村とは現在の飛鳥町のことである。この地域は、「飛鳥」の名称の示すように、古史史関係で著名な奈良飛鳥地方に地形などが類似していることであつて、各務原市域を研究対象にしている古史研究者が注目している地域の一つである。

ところで、古代において、番高い神階を有しており、栄えていたはずの飛鳥田神社は、近世にあつては、同じ古市場村に所在する加佐美神社の時に隣社に、蘇原郡十ヶ村惣社¹⁾の地位を譲つてゐる。何かの原因によつて中世の没落で衰退したと考えられるが、その原因が何であつたかは不明である。ただ、時の権力者に保護される機会が乏しかつたことがその原因の一つとして想定される。また、神職が加佐美神社の社家にまかされたことは、それ以後の飛鳥田神社の立場を不利にし、要因の一つといへよう。他の式内社が神社として指定されたのに対し、飛鳥田神社は選に漏れた。

加佐美神社 各務原市蘇原古市場町五丁目内に鎮座する。現在式内社の一つに比定されている。帳内社の正四位下登見明神とされている。祭神は不詳であるが、蘇我倉山田石川麻呂といふ説がある。他に、曹田原宇佐神宮の祀といふ説もある。祭神はともかくとして、近世初期以降中期まで、「若宮八幡宮」又は「八幡神社」と呼ばれていたことが、延喜式にも確かである。近世において、社名に「加佐美」の名が見られるようになるのは、棟札にて天明五年(一八二五)八月以降である。神社名が、「延喜式」になつて加佐美神社に変更されるのは何時ごろか興味深い。その手懸りとして次の点が注目しよう。明和二年(一七六六)年に、神祇官領長吉田家に對して、八幡神社神官坂井右衛門の名で社名変更が許可申請された。その時点で申いが受理されているか否かは詳らかではないが、明和期(一七六四)に七社が、安永四年(一七七九)七月の棟札(三三)は全て八幡神社のままであるところから、安永四年八月以降に天明五年(一八二五)まで、八幡神社の社名が変更された。また、坂井右京は、なかなかの道り手であつたらしく、八幡神社の大門近くへ屋敷を移したり、御殿を造営、社名変更の申請、吉田家入門及び受領官名目以上の獲得、家系図の作成など、社家としての坂井家歴代の中で特に活躍が目覚ましい。

同社は、「美濃国稲葉郡志」によると、「往古より本殿の西室に觀音(註)不動明王(智証大師作、東堂に阿彌如來像、傳教大師作、佛敎大師本尊)自作の五輪を安置(兩部にして)下階」といふ位、真言神道の兩神道であつたと見え、しかも、教大師作、佛敎大師本尊(註)不動明王(智証大師作、東堂に阿彌如來像、傳教大師作、佛敎大師本尊)自作の五輪を安置(兩部にして)下階」といふ位、真言神道の兩神道であつたと見え、しかも、平平時代作と鑑定される。阿彌如來坐像、や伝教大師坐像、作の伝承をもつ位像の存在は、むしろ天台神道を仄めかし、不動明王などに結びつけた神道の矛盾を有している。どちらの教説をとつていたか詳らかではないが、いわゆる神仏混淆の形態をとつていたことは確かである。また、坂井家々譜によればは、社主一人、祠官六人、社附三人を稱し、古市場村五百貫文の神主領頭五百貫文、蘇原郡内村の内社八人領六百貫文、社附三ヶ寺領四百貫文があらわれていたが、斎藤道三によつて社主領頭、社家領、社附領とも取りあげられてしまつた。

たとい、その後、奇襲龍籠から古市場村の内へ神領として百貫文寄進され、同時に神主領として十貫文宛がわれ、神主だけが精一杯といふ扶持状況に追い込まれたといふ。ついで天正二年(一五九四)年には、秀吉よつて社領を再び上げられたが、文禄二年(一五九五年)に秀吉から神領として二百石寄進された。近世に入ると、元和二年(一六六六)年に菅沼織部正から神主へ対し神領とともに五百石進されたといふ。文化七年(一八〇七)年、古市場村明細帳¹²⁾には、社地の儀は當村御宇神除之場所二御座候」となっており、果敢に神領であったことがわかる。

なお、明治維新の神仏分離令によつて、旧儀は宇真宗光宗等に保管を委託された。同社は、明治二年(一八七一年)に指定された。美濃國神名帳には、「從五位下真智明神」に記されている。祭神は手力雄神といわれる。

同社は、織田氏的美濃攻勢を契機として、信長に信奉されるようになり保護された。信長は、神領として各務野八町野と近里山五町野歩を寄進し、神領に上したといわれている。また戦国期には、在地領主赤坂氏の保護を受けており、赤坂氏が稲農後も有農氏として在地に留まったことから、従来と同様に同氏から経済的援助があったとみてよいであろう。各務野開墾争論に関する願書によると、信長の寄進したところ、徳川氏には、徳川四郎入道、慶長一五年(一六〇八)年の除地除地儀は再確認されている。しかし、その後、美濃代官杉田九郎兵衛(初期は文久和重と名乗る)による反別取改め、神領除地の扱いは撤回され、更木八か村林場定納米九石寄進して算定された。それ以降も、元禄年中、延享年中、宝暦年中、明和年中の四度にわたつて、全国の開墾アラムと相俟つて、各務野開墾問題が生じているが、そのつど各村々民の強い抵抗に耐へてきた。信長と胡麻の油は絞れ絞るはよく出る。の暴息を吐き、年貢の取り立て強引策で有名な、幕府勘定奉行神尾善守春次各務野開墾を立案もつて、彼らの計画が頓挫したといわれている。開墾に反対した農民の理由が如何に当を得ていたかについては、水柄、土質などの面でも都合な点が多失敗した。しかし、この件に関する史料は、記載内容が矛盾が多くなり、利用するにあつて検討を要するものである。信長による各務野開墾説の傍証史料として、寛政九年(一七二八)年から開始された、手力雄神社所蔵の水禄(○年一六六三)一〇月付 織田信長制判物 自体についても、花押など若干疑問視されていることを考慮すれば、信長寄進の伝説は、幕府による各務野開墾を阻止するにあつた方便として、後代(幕府期)に偽作された可能性もあるといふこと。

同社は、明治二年の長塚村明細帳には記載されておらず、近世末期に陥没されていたか不明である。更木八か村惣社として周辺の村々から信仰されていたことは確かである。現在もなお、各務野原内に鎮座する神社の中では、有数の広大な境内(東西四四二二)を所有する神社の一つである。明治二年(一八七一年)に指定された。

天神神社

各務原市上井町三丁目内に鎮座する。同社は、現在いわゆる式内社・根内社とも比定されていない。祭神は国常立尊であるといわれている。はじめ三井山内に鎮座していたが、三井城を造るにあつて現在の場所に移されたといふ。

近世にあつては、熊本内(内氏)宗家及内分(三喜)一、期(五五)二に信奉された。慶長二年(一六二七)二月の棟札によると、まぎれていた同社に対して、坪内玄兼宗定が神社を造営、修葺すると保護していただくことがわがる。特に、新加納内氏の宗分(宗本)であった平島三井、平島の坪内氏は、在地に居住していたこともあり、毎年初詣に同社へ参拝してゐる。三井坪内氏や平島坪内氏が地理的に遠いはずの「中屋天神」へわざわざ参詣している事実は、前渡坪内氏が三井邸へ年頭立ち寄つた折にも御井神社へは参拝してない点を考へれば、同社が如何に旗本坪内氏から信奉されていたかを物語るものといふこと。

ところで、同社は、慶長九年(一六〇四)八月にも坪内玄兼宗定によって新しく拝殿が造営されたことを示す棟札がある。その中に「縣天明神御前」とあり、同社の社名の由来を示す手懸りになる。近世によつては、「天神社」とは「天神宮」として、古文書・棟札等にその名を見ることがでる。それらの記録によると、上中屋天神が雨乞いの神として農民に信仰されていたことがわかる。現在同社は天神社と呼ばれているが、これは、神社の登録時に「○○神社」という用紙の記入(奥御記と記したところから、手廻りによつて天神神社に名が変更されたといふ。いわゆる天神社といふは北野天神(意重直)が想起されるが、天神御記は本来雷神神仰であり、道真の怨霊鎮座のため、一火雷神の号を贈られた。以来、天神といふは道真をさすことになっただけである。上中屋天神は、雨乞い信仰の例もあることから、雷神神を対象とする神社であつたとみて差支えない。上中屋天神の他にも「天神社」という神社名で、上中屋天神の祭である国常立尊と同じ「天神(天つ神)」の天神(天つ神)を祭神とする神社が奈良市北野野中に存在する。以上各点を考慮すると、祭神を以て判断するのでは、除であるが、上中屋天神は、「天つ神」を祀る神社であるといふ意味で、近世において「天神社」と呼ばれていた可能性があるとすれば、天神神社への社名変更は安易な決定であつたといふこと。

御井神社

各務原市上井町五丁目内に鎮座する。現在式内社の一つに比定されている。また、美濃國神名帳には、正四郎下御井明神となつてゐる。はじめ三井山の嶺に鎮座していたが、天文年中に、土岐彌一郎が三井山に築城することになったため、現在地に移たといわれている。この由緒は上中屋の天神社と同様であるが、三井山の本社を移してのが現御井神社で、担社を移したのが上中屋の天神社であるといふ。

祭神は御井津媛とされ、他に国常立尊と住吉天神(底筒之男神・中筒之男神・表筒之男神)を祀る。一方、寛政元年(一七二八)年九月の鳥居造立棟札には、神主岩井氏内(一)の名が出てくる。これは、同社の神主が、近世中期に洲原神社神職の職務から岩井氏の属に変わったことを示すものと思われ。元文二年(一七五七)二月、神祇官領土部兼藤から宗室官官の形で正一位御井大明神の神階を贈られてゐる。元文期前後に同社の社名と吉田家の繋がりが出来た公算が大きい。また同社は、天保五年(一八三四年)正月に坪内庄保(家)〇〇から職務加番の

無事終了の札として「鶴梨神酒造一付」が奉納されており、天神神社と同じ熊本坪内社に信奉されていたといえよう。明治六年一月郷社に指定された。

村国神社 各務原市各務原が町三丁目地内に鎮座する。現在、式内社の一つに比定されており、村国二座の中のもう一つは、同社の御旅所御影堂に比定されている。また帳内社の従五位下村国明神にも比定されている。²²⁾ 祭神は、村国神社が村国連祖神の大明命であり、御旅所が村国明依であるとわねられている。御旅所は村国明依の墳墓だとする伝承もしているが、中甲の乱を契機に中央官人に登用されている同人の履歴からすると、村国明依墳墓は可能性が薄い。²³⁾ また現在の村国神社が七世期の群臣墳の中立地していることは確かである。同社の棟札関係のうち、村国二座の名が出てくるのは、寛政二年（一七九〇年）九月の棟札が初見であり、近世を通じて「村国」の名をみるのとがかるのは、他に享和三年（一八三三）六月の棟札と天明元年（一八二一）五月八日の村国白雲の社額だけである。その他は寛永二年（一六二五）八月を上限として全て白山神社となっており、元禄一六年九月の社額「白山大権現」もある。明治以後の棟札は、その登録の關係で全て「村国」の名に統一され、村国神社として扱われている。その他にも、享徳〇年（享徳は四十二ないし四十三）には確かである。ほらり、享徳五年（一四三三）の大小奉納札が存在するが、残念なことに社名が載っていない。²⁴⁾ 以上のように、棟札に出現する社名が、圧倒的に「村国」社として表現されることが多い点を考慮すれば、同社は、元来白山神社であった可能性が強い。

とて、寛政期の神主五島相模の以前には、同地の慈眼寺の住職が同社の神主にならねた役目を務めていた。慈眼寺は、現在神宗曹洞宗であるが、泰澄開基の縁起もつ白山神道と結び付きの深い寺であり、元和七年（一六二二）年に釈山和尚が再興した。また元禄十年（一六九七）六月の「重寶白山神願記」に「濃州路各務郡各務邑白山権現者、十一面觀音垂跡、四十奉代元正帝尊元年奉遷大御師御旅、爾來凡九百八十年、成り佛興、亦有時記。今當元禄丁丑歲、風雨不忍見壞廢、庶民合力重修之、重之留記之、中略、前水本、現住慈眼龍山燕門課記（及び此處は右に記すとある）。曹洞宗本山山寺は、現在でも雲水の修行の場として白山登山を採行しているが、白山山頂と縁がある寺である。この水本寺から慈眼寺に住職が遷されたいたことに注目すれば、近世前期において慈眼寺と白山信仰の結び付きが深かったことは実況で言うところである。慈眼寺の住職によつて、村国神社が白山神社と名称を変更された可能性もあるのである。

従つて、村国神社の社名問題は、現村国神社及び御旅所の式内社比定の問題と関連して、今後の研究課題であるといえよう。棟札からみると、同社は、社殿造営が寛永二年（一六二五）・寛文七年（一六六六）・延享二年（一七四四）・享和三年（一八三三）・昭和四年（一八三三）の五回行われていることがわかった。拝殿造営が元禄四年（一六九七）年、御旅造営が寛文五年（一七二五）年、幣殿造営が大正二年、社務所が昭和三年に行われ、その間修繕も行われている。なお、現社殿本堂は、昭和五年八月に造立された。社名については、安永九年七月の「五島相模正」以後、専らまで五島氏が世襲している。この五島氏も、加佐美神社の改葬家・村国真墨田神社の後継

家と同様、吉田家に入門していた可能性が高い。明治七年郷社に指定された。

村国真墨田神社 各務原市原沼山崎町一丁目地内に鎮座する。現在式内社の一つに比定されている。また帳内社の従五位下真墨田明神にも比定されている。祭神は村国連祖神の大明命といわれる。

戦国時代には、鶴沼城主の大沢氏一族の守護神として信奉された。また、小敷、長久手の合戦の時、大山城へ入城しようとする羽柴秀吉の水曾川渡に協力し、秀吉から周辺の川の権柄を認められた鶴沼の船頭有力者、河村惣六によつて保護された。

棟札關係についてみると、天正二年（一五九四）八月の「奉修諸南宮大明神村国宮」の勸請札があり、また同社の「奉修真墨田南宮大明神御社」及び承応二年（一六二一）八月の「奉修親村国南宮大明神御社」の棟札等がある。天正二年の修復棟札は、河村惣六勝政が現在の場所に社殿を移した時のものと考えられる。田頭所在地は、現在同社の御旅所となっており、数字百メートル程に位置する。なお、美濃國一之宮であった南宮神社（至徳寺）の社名が、文化年中に同社へ崎家子か来つて、明治二年社に指定された。

以上、主な神社について概説したが、各神社の創立年代は不詳であるけれども、古代の原始的祭祀遺跡とみられる磐座百石を境内に有している。加佐美神社と手力尊神社の習古より古いと考えてよいだろう。

三 神職支配の模様

さて、先述した神社の社名について、その支配系統と關係して若干言及してみた。

中世には、神祇界の支配系統に混乱が生じ、神祇伯白川家や神祇管領長土を諱称していた吉田家以外にも、いわゆる「二十二社」などの畿内を中心とした由緒のある有力大社や守護大名クラスの領主が、諸國の社名に対して積極的に神職任務を出し意のままに支配していたとされている。その中であつて、神祇伯白川家を当然のことながら神職任務に携わっていた。吉田家供以來、吉田家の急激な勢力拡大は、法的根拠をもち、私的補任によるところが大きかつたといふ。

近世にあつて、諸國の神社及び神職が、白川家と吉田家を二大頂点とする神祇界支配機構を組む必要から、吉田家を中心としたおほむかであるが、中世後期からなされたような神祇界の無秩序状態は近世に入つてのみみられる。すなわち、白川家及び吉田家支配の神職の存在は、白川家・吉田家への所屬をめぐる社名間の争ひ、先述の二大社以外の有力大社に属している社名、独自の神道を営みながらも存在しない有力大社などの例は、その無秩序状態を裏証してくるものである。

これに対して、幕府では、神祇界の支配秩序の回復と幕藩制国家支配秩序への神職の組み込みの必要から、吉田家を中心とした神祇界の再編成に乗り出すのである。幕藩制国家支配に神祇界を組み入れていたためには、禁裏支配の神に勢力をもつ白川家を利用するよりも、全国

表(I) 吉田家との関係

神社名	社家名	初見	史料
飛鳥田神社 (鬼門大明神)	坂井家		
加佐美神社 (若宮八幡宮)	坂井家	宝暦3年12月18日 宝暦10年3月	丹羽神社堀長門免許状 袈束免許状
手力雄神社	浅野家	享保12年3月13日	神道免許状
天神神社 (天神)	河田家	不明	不明
御井神社	岩井家	元文3年5月21日	宗源宣旨
村国神社 (白山大権現)	五島家	不明	不明
村国真墨田神社	後藤家	宝暦12年6月12日	神道免許状

表(II) 神職免許状(坂井家)

年月日	氏名	内	容
宝暦3年12月18日	坂井宗大夫	袈束免許状	木綿手纏
宝暦10年3月4日	坂井宗重	"	四組木綿手纏
安永3年3月8日	坂井宗次	"	"
"	坂井宗重(山城正)	"	把物浅香
"	"	"	赤色千早
寛政7年3月13日	坂井撰津正宗等	神道免許状	
"	"	袈束免許状	法令可着衣冠
"	"	"	四組木綿手纏
文化5年正月10日	坂井大和正實弘	神道免許状	
文化8年2月 日	"	袈束免許状	法令衣冠着用
文化8年2月19日	坂井和泉正實信	神道免許状	
天保12年2月8日	坂井撰津正宗信	"	

式はつた」又「組織化された」入門作法の実態を明らかにしてくれる点で意義がある。

四 結びに代えて

以上、現在の各務原市域に限定して、神社及び社家の概説を試みたのであるが、最後に、いわゆる式内社の社名採用の点について言及しておきたい。

現各務原市域内の神社の中で、最初に式内社を意識するのは御井神社とみなしてよからう。すなわち、享保九年(一七四四年)二月の棟札に「濃州各務郡式内三井神社」の記載がみられるからである。また、前述したように、蘇原十村惣社(八幡宮)が式内社の加佐美に社名変更しようとするのは明和二年二月である。村国神社を例にとると、それまでの「白山」神社名の中へ、「村国」の名が登場しているのは寛政一〇年九月である。さらに村国真墨田神社が現在の社名に神社名を固定するのは安政二年(一八五一年)八月の棟札からである。これらの事実は、各神社が「延喜式」の「各務七座」の社名を意識しつつ従来の通称名を改めていった可能性を示しているといえよう。御井神社の「式内三井神社」というように、式内と銘づつ必然性を考えるとき、式内社比定による由緒付け以外はその理由がみあたらないからである。御井神社はその甲斐あつてか元文三年五月には吉田家から正一位の職位を与えられた。これらの式内社比定の動きは何に起因していたかであるが、まず、由緒付けをねらつて「延喜式」に結びつけたことが考えられる。そして、その背景には享世中期から末期にかけてみられた全面的動きとしての「国学」の流行があつたと想定してよからう。

(付記)

本稿は、昭和五七、五八年度の二年にわたつて、各務原市史編集事務局のスタッフが行った、市内各地の神社の棟札調査をベースにまとめたものである。(文責上村恵夫)

- (1) 『岐阜県宗教法人名簿』
- (2) 『八幡神社々家坂井家々譜』(坂井藩氏所藏文書)
- (3) 『各務原市資料調査報告書』(第一・三号)所収
- (4) 『美濃國稲葉郡志』
- (5) 天明、寛政年間の出論『蘇原古市場広報会文書』(蘇原飛鳥町広報会文書)
- (6) 註(4)に同じ
- (7) 註(2)に同じ
- (8) 『各務原市史』(史料編 古代・中世卷)所収
- (9) 坂井藩氏所藏文書『各務原市資料調査報告書』(第三号)所収
- (10) 財団法人美術院所長小野寺久平氏による
- (11) 正徳五年八月「八幡神社伝尊札」
- (12) 田美濃郡代室松原屋文書(岐阜県歴史資料館所藏)
- (13) 『明治十年社寺什物取調書』(「田原町後援文書」)に、光泉寺住職他村役にあった人たちの約定書がある。
- (14) 稲田道古『校正美濃國神名帳地考』(岐阜県立図書館蔵)
- (15) 註(4)に同じ
- (16) 天明四年四月付「各務野新開堂争論一件」(手力権神社所藏文書) 他に横山氏氏所藏文書の中にも同様のものが確認されている(那加町史)
- (17) 『八ヶヶ村惣百姓株場三不統成下候てハ、八ヶヶ村古田畑地力衰え候段(下略)』
- (18) 小林義徳『那加町史』二〇八―二〇九頁
- (19) 『岐阜県史』(史料編 古代・中世)一九三八頁
- (20) 坪内玄蕃は、年代からみると新加納坪内氏の初代「利定」に該当するが、その前後を省めて、熊本坪内氏の家系譜に「光定」の名は見当たらない。従って偽作の疑いが残る棟札史料といえよう。
- (21) 『前渡坪内氏御用日記』文化一一年・一二年など
- (22) 註(4)に同じ
- 脚井神社所藏

- (23) 註(4)に同じ
- (24) 村国神社の御旅所は、現在古墳とみなされていない。(『岐阜県遺跡地図』昭和五十一年、『各務原市史』考古卷昭和五十八年などは古墳に登録されていない)
- (25) 『各務原市史』考古卷
- (26) 阿部栄之助『濃飛尚国通史』上巻二二七頁
- (27) 村国神社所藏の板書
- (28) 後藤信濃調理師常
- (29) 土岐昌訓『白川、古田の神祇支配―並にそれける武藏・相模の両省を中心して』(『国学院雑誌』第八〇卷三三頁)
- (30) 白山中居神社『石徹白鳥町古蹟』に関する「石徹白鳥騷動」(上村玄宏「石徹白騷動の史的意義」(『岐阜県史』七八頁))
- (31) 白山長龍神社『石徹白鳥町古蹟』の社家は三輪神道に属していた(『白鳥町史』史料編)
- (32) 平野大社など
- (33) 土岐昌訓『近世の神祇組織 武藏の事例』(『国学院大学日本文化研究所紀要』第二輯三三三頁)
- (34) 『法曹後録』(徳川榮考) 第五戦
- (35) 寛政元年七月に、沼津山王社の神主口能登による白川家状受領の件が幕府によって認可されている(『地方公裁録』・『類例秘録』)
- (36) 越中岡白鳥若飯白門 越前上郡白鳥石徹白に鎮座する白山中居神社のこと、寛文五年(一六六五年)二月に記載をみる。宝暦騷動以後、全村家が吉田家へ入門
- (37) 本郷郡北方町北方に鎮座する大井神社のこと。宝暦五年(一七五五年)三月に記載をみる。
- (38) 岐阜市西部に鎮座する比奈守神社のこと。宝暦七年(一七五七年)一〇月に記載をみる。
- (39) 別府市春日町江古良に鎮座する野々喜神社のこと。宝暦九年(一七五九年)四月に記載をみる。
- (40) 揖斐郡春日川合下流に鎮座する。『岐阜県宗教法人名簿』には登録されていないが、同地区には白山神社・雷公神社・愛宕神社の三つある。どれに比定できるかは現在判断できない。ただ現在は、『野原右京』と同じ姓の住民がおり、神社の規模が考えられると、白山神社又は雷公神社に限定できると思われる。なお本項については、春日村教員の芳助をいいた。
- (41) 海津郡平田郡小尾に鎮座する今尾神社のこと。寛政四年正月に記載をみる。
- (42) 『喜右八幡神主坂井右京、吉田家入門に付古市場村役人詰合一札』(『井兼藩所藏文書』には、堀大陣守の取り次ぎによって、坂井右京が吉田家入門を申請しているのがみられる。
- (43) 坂井家の例と不明であるが、先述の白山中居神社の社家を例にとりかかると、吉田家上納金として、主要社家(神頭、常司、や神主をたす

頭社人は金忠尚二分と銀二五匁を出し、その他の半社家・半社人は金忠尚と銀二五匁を納めている。「白鳥町史」通史編上巻)。また、岡栗を例にとると、武州多摩郡平井村・若宮八幡宮・神主の場合には、天保四年四月の吉田家上納金が忠尚忠尚、同家々を四人へ廿匁末上納している(註即)と同じ。これらの例から判断すると三十九項目の免許は相当高額が必要であったと考えられる。

(4) 『徳川禁令考』第五帙 一七一―一九頁

(5) 『白川家門人帳』

(6) 栗本謙二、吾國興共著『沼沼野史』八八頁。なお、『美濃國稲葉郡志』で紹介しているように、(本註)三年(二五〇)年、初沼城主大沢正次が奉納している太刀、首正袋には「村岡真墨田神社」と書かれているが、字は後代のものとみてよいだろう。

編集後記

今回発刊する「文書史料目録三」は、前回の一・二号に収録することのできなかった文書と、その後の調査によって所在が新しく確認された文書及び棟札を収録しました。

棟札には、施主・奉行・宮司・僧侶・大工・棟梁などの名前が記され、中には造営理由を付するものもあり、造営事情とともに、当時の社会情勢までを知ることができるので、「附 棟札類目録」として参考のため収録しました。なお、この棟札の全文は、今回刊行される市史「史料編古代・中世」巻に収録されていますので、あわせて参照してください。

今回の「文書史料目録三」の発刊により、文書約一万二〇〇点余を調査・収録することができ、これで若干の例外を除き市内に残っている文書関係は、ほぼ網羅できたと思います。したがって、「文書史料目録」の発刊はこれが一応区切とします。今後の「各務原市資料調査報告書」は、市史に掲載できなかった資料及び市史刊行後、新たに発見された資料等を収録して、市史の不備を補充していく予定です。

本史料目録の発刊に際し、文書をご提示いただきました各位のご厚意に深く感謝申し上げます。またご指導ご教示をいただきました市史編集委員長野村忠夫先生、市史近世部会の松田之利先生はじめ諸先生方に厚くお礼を申し上げます。

昭和五十九年三月二十二日

社会教育課長

林

友 男

干支早見表(4)

干支	年号	西曆	年号	西曆	年号	西曆	年号	西曆	年号	西曆
丙子	皇永13	1636	元禄9	1696	宝禄6	1756	文化13	1816	明治9	1876
丁丑	14	1637	10	1697	7	1757	14	1817	10	1877
戊寅	15	1638	11	1698	8	1758	15	1818	11	1878
己卯	16	1639	12	1699	9	1759	16	1819	12	1879
庚辰	17	1640	13	1700	10	1760	3	1820	13	1880
辛巳	18	1641	14	1701	11	1761	4	1821	14	1881
壬午	19	1642	15	1702	12	1762	5	1822	15	1882
癸未	20	1643	16	1703	13	1763	6	1823	16	1883
甲申	正保1	1644	宝永1	1704	明和1	1764	7	1824	17	1884
乙酉	2	1645	2	1705	2	1765	8	1825	18	1885
丙戌	3	1646	3	1706	3	1766	9	1826	19	1886
丁亥	4	1647	4	1707	4	1767	10	1827	20	1887
戊子	慶安1	1648	5	1708	5	1768	11	1828	21	1888
己丑	2	1649	6	1709	6	1769	12	1829	22	1889
庚寅	3	1650	7	1710	7	1770	天保1	1830	23	1890
辛卯	4	1651	正徳1	1711	8	1771	2	1831	24	1891
壬辰	承応1	1652	2	1712	安永1	1772	3	1832	25	1892
癸巳	2	1653	3	1713	2	1773	4	1833	26	1893
甲午	3	1654	4	1714	3	1774	5	1834	27	1894
乙未	明暦1	1655	5	1715	4	1775	6	1835	28	1895
丙申	2	1656	享保1	1716	5	1776	7	1836	29	1896
丁酉	3	1657	2	1717	6	1777	8	1837	30	1897
戊戌	方治1	1658	3	1718	7	1778	9	1838	31	1898
己亥	2	1659	4	1719	8	1779	10	1839	32	1899
庚子	3	1660	5	1720	9	1780	11	1840	33	1900
辛丑	寛文1	1661	6	1721	天明1	1781	12	1841	34	1901
壬寅	2	1662	7	1722	2	1782	13	1842	35	1902
癸卯	3	1663	8	1723	3	1783	14	1843	36	1903
甲辰	4	1664	9	1724	4	1784	弘化1	1844	37	1904
乙巳	5	1665	10	1725	5	1785	2	1845	38	1905
丙午	6	1666	11	1726	6	1786	3	1846	39	1906
丁未	7	1667	12	1727	7	1787	4	1847	40	1907
戊申	8	1668	13	1728	8	1788	嘉永1	1848	41	1908
己酉	9	1669	14	1729	寛政1	1789	2	1849	42	1909
庚戌	10	1670	15	1730	2	1790	3	1850	43	1910
辛亥	11	1671	16	1731	3	1791	4	1851	44	1911
壬子	12	1672	17	1732	4	1792	5	1852	天正1	1912
癸丑	1	1673	18	1733	5	1793	6	1853	2	1913
甲寅	2	1674	19	1734	6	1794	安政1	1854	3	1914
乙卯	3	1675	20	1735	7	1795	4	1855	4	1915
丙辰	4	1676	21	1736	8	1796	3	1856	5	1916
丁巳	5	1677	22	1737	9	1797	4	1857	6	1917
戊午	6	1678	3	1738	10	1798	5	1858	7	1918
己未	7	1679	4	1739	11	1799	6	1859	8	1919
庚申	8	1680	5	1740	12	1800	文政1	1800	9	1920
辛酉	天和1	1681	寛保1	1741	寛和1	1801	文久1	1801	10	1921
壬戌	2	1682	2	1742	2	1802	2	1802	11	1922
癸亥	3	1683	3	1743	3	1803	3	1803	12	1923
甲子	4	1684	4	1744	4	1804	4	1804	13	1924
乙丑	5	1685	5	1745	5	1805	徳化1	1805	14	1925
丙寅	6	1686	6	1746	6	1806	2	1806	15	1926
丁卯	4	1687	4	1747	4	1807	3	1807	1	1927
戊辰	元禄5	1688	寛延1	1748	享保1	1808	3	1808	3	1928
己巳	6	1689	2	1749	2	1809	2	1809	4	1929
庚午	7	1690	3	1750	7	1810	3	1810	5	1930
辛未	8	1691	宝禄1	1751	8	1811	4	1811	6	1931
壬申	5	1692	2	1752	9	1812	5	1812	7	1932
癸酉	6	1693	3	1753	10	1813	6	1813	8	1933
甲戌	7	1694	4	1754	11	1814	7	1814	9	1934
乙亥	8	1695	5	1755	12	1815	8	1815	10	1935

○は開月 □は改元月

干支早見表(3)

干支	年号(南朝)	年号(北朝)	西曆	年号	西曆	年号	西曆	年号	西曆
丙子	建元1	3	1336	徳永3	1386	康正2	1436	永正13	1516
丁丑	2	4	1337	4	1397	長祿1	1447	天正1	1497
戊寅	3	5	1338	5	1398	2	1457	5	1517
己卯	4	6	1339	6	1399	3	1458	6	1518
庚辰	5	7	1340	7	1400	4	1459	7	1519
辛巳	6	8	1341	8	1401	5	1460	8	1520
壬午	7	9	1342	9	1402	6	1461	9	1521
癸未	8	10	1343	10	1403	7	1462	10	1522
甲申	9	11	1344	11	1404	8	1463	11	1523
乙酉	10	12	1345	12	1405	9	1464	12	1524
丙戌	正和1	1346	13	1406	10	1465	13	1525	
丁亥	2	1347	14	1407	11	1466	6	1526	
戊子	3	1348	15	1408	12	1467	7	1527	
己丑	4	1349	16	1409	1	1468	8	1528	
庚寅	5	1350	17	1410	2	1469	9	1529	
辛卯	6	1351	18	1411	3	1470	3	1530	
壬辰	7	1352	19	1412	4	1471	4	1531	
癸巳	8	1353	20	1413	5	1472	5	1532	
甲午	9	1354	21	1414	6	1473	2	1533	
乙未	10	1355	22	1415	7	1474	3	1534	
丙申	11	1356	23	1416	8	1475	4	1535	
丁酉	12	1357	24	1417	9	1476	5	1536	
戊戌	13	1358	25	1418	10	1477	6	1537	
己亥	14	1359	26	1419	11	1478	7	1538	
庚子	15	1360	27	1420	12	1479	8	1539	
辛丑	16	1361	28	1421	13	1480	9	1540	
壬寅	17	1362	29	1422	14	1481	10	1541	
癸卯	18	1363	30	1423	15	1482	11	1542	
甲辰	19	1364	31	1424	16	1483	12	1543	
乙巳	20	1365	32	1425	17	1484	13	1544	
丙午	21	1366	33	1426	18	1485	14	1545	
丁未	22	1367	34	1427	19	1486	15	1546	
戊申	23	1368	35	1428	20	1487	16	1547	
己酉	24	1369	36	1429	21	1488	17	1548	
庚戌	25	1370	37	1430	22	1489	18	1549	
辛亥	26	1371	38	1431	23	1490	19	1550	
壬子	27	1372	39	1432	24	1491	20	1551	
癸丑	28	1373	40	1433	25	1492	21	1552	
甲寅	29	1374	41	1434	26	1493	22	1553	
乙卯	30	1375	42	1435	27	1494	23	1554	
丙辰	31	1376	43	1436	28	1495	24	1555	
丁巳	3	1377	44	1437	29	1496	25	1556	
戊午	4	1378	45	1438	30	1497	26	1557	
己未	5	1379	46	1439	31	1498	27	1558	
庚申	6	1380	47	1440	1	1499	28	1559	
辛酉	7	1381	48	1441	2	1500	29	1560	
壬戌	8	1382	49	1442	3	1501	30	1561	
癸亥	9	1383	50	1443	4	1502	1	1562	
甲子	10	1384	51	1444	5	1503	2	1563	
乙丑	11	1385	52	1445	6	1504	3	1564	
丙寅	12	1386	53	1446	7	1505	4	1565	
丁卯	13	1387	54	1447	8	1506	5	1566	
戊辰	14	1388	55	1448	9	1507	6	1567	
己巳	15	1389	56	1449	10	1508	7	1568	
庚午	16	1390	57	1450	11	1509	8	1569	
辛未	17	1391	58	1451	12	1510	9	1570	
壬申	18	1392	59	1452	13	1511	10	1571	
癸酉	19	1393	60	1453	14	1512	11	1572	
甲戌	20	1394	3	1454	11	1513	12	1573	
乙亥	21	1395	4	1455	12	1514	13	1574	
丙子	22	1396	5	1456	13	1515	14	1575	

○は開月 □は改元月

各務原市資料調査報告書第三号

各務原市文書史料目錄三

昭和五十九年三月二十二日

編集◎ 各務原市教育委員会

各務原市那加塚町一丁目六番地

電話 八二二一 二一四七六

電報 名古屋五七三二 各務原市

印刷 關イナバ印刷社

各務原市三井東町一五十一

110219003

各務原市図書館

水濡れや汚れ、書き込みなどで
本が傷ついています。
申し訳ありません。
各務原市立中央図書館